

打ち合わせ記録

場 所：佐伯市役所

日 時：平成 29 年 5 月 31 日 13:00～15:30

議 事：

1. 市民ワークショップの進め方に関する事務局会議

- ・市民ワークショップの円滑化に向けて、事前に各関係課よりいただいていた提案、心配疑問に対して、シアターワークショップより回答を提示した。
- ・市民ワークショップでいただいたアイデアがどのような流れで実施計画に反映されるのか、具体的な事例を基にシアターワークショップより説明した。

2. 合同部会キックオフに向けた事務局会議

- ・合同部会キックオフに向けて、以下の2点を議題とすることをシアターワークショップより提案し、それに対する意見を後日収集することとした。
 - ・合同部会の位置づけについて
 - ・プレイベントに向けたプロジェクトチームの立ち上げについて

◇「WS 円滑化に向けて」でいただいた提案・心配疑問への回答

「提案」について

■合同部会を第 3 回市民 WS より先に開催する意図

・合同部会の在り方について意見交換

→仰るとおり、6/2 は合同部会のキックオフとして、まずは市が想定している合同部会の役割をご説明し協議することで、合同部会の在り方についての共通認識を形成します。

・WS に提案するグループワークについて事前に協議することで、WS の内容を濃くする。

→合同部会は各部会のご意見を集約し市へご提示頂いたり、部会間の連携や協働について協議したりする場と考えます。また市民 WS は市が市民からアイデアを頂くための場ですので、市（TWS 含む）が主体となって進め方を検討し運営していく必要があります。この機能を合同部会に委ねてしまうと、合同部会の設立趣旨や市と市民との関係性が曖昧になりかねないため、グループワークに関する事前協議はあくまで市側で行い、可能な範囲で WS 参加者へ事前共有する、という姿勢が望ましいと考えます。

■第 3 回市民 WS の開催について

・WS でアイデアを求める実施計画の項目の表記例を示す。（他市の事例？）

→参照：【資料 2】長野市の事例

事例を提示することで市民 WS にて頂いたご意見がどのようにして形になっていくのか、共通のイメージを持つことができる利点がありますが、同時に市民の自由な発想の妨げになってしまうことも懸念されます。事例はあくまで参考資料であり、既存の管理運営基本計画を基に佐伯オリジナルの実施計画を策定していくことが肝要である旨を併せてご説明する必要があります。

・第 4 回で検討する利用規則につなげるため、部会内で事業の詳細を検討する必要があるか。

→参照：【資料 3】WS 全体の流れについて

第 3 回では、第 2 回の流れを汲みつつ、第 4 回への繋がりも意識しながらグループワークに取り組んで頂きます。特に組織に焦点を当て、効果的に事業を実施するための市民組織の在り方について話し合う回にする想定です。

■市の考えを参加者へ伝える

- ・実施計画を策定するためのWS、プレイベントの企画立案を行う実行委員会の設立を考えている等、市の方針を参加者に明確に伝える必要がある。

- ・参加者に求めること、して欲しいことを説明することで、参加者が望むことを把握する。
(合同部会)

→市としてのプランを市民へ明確に示すことが重要です。市民 WS や実行委員会の役割についてももちろんですが、合同部会にて市民の意見を受け止めるからには、その受け皿となる「市としての見解」が不可欠です。市にはどこまでが可能で、どこから市民の協力を得たいのか、市として現時点でどういった展望を持っているのか、といったことを市民へ提示することが、市民の漠然とした不安感の解消へ繋がります。

そのため、市民 WS では管理運営基本計画に掲げている理念や方針を、また合同部会では市民のアイデアに対する市としての回答を、今後提示して頂くことになります。

■WSと合同部会の関係

- ・WSの意見をもとに市が計画書の素案として整理したものを合同部会で検討・修正する。それをWSにフィードバックして、「できない」を「できる」に変えるアイデアを募り生み出していく場とする。

→仰るとおりの流れを想定しています。ただ、タイミングによっては WS は終了している可能性もあるため、合同部会でまとめられた方針は WS ではなくプロジェクトチーム（プレイベント実行委員会）へ伝え、より実践的な議論へと繋げていくことも想定しています。

■実施計画策定にとどまらず、開館後まで継続する仕組みづくり

- ・プレイベント実行委員会の設立案はいつ、どのように行うか。

第4回、第5回のWSまで待てない。

→6/2に行う合同部会のキックオフを、プロジェクトチーム（プレイベント実行委員会）を含めた各組織の分担、すみ分けについて協議する場としたいと考えています。ここでの結果を受け、プロジェクトチーム（プレイベント実行委員会）の始動について改めて検討します。

「心配・疑問」について

■市民WSを進める上での不安、疑問

- ・各班のアイデアがどのように計画書に反映されるのか疑問。

⇒具体案を参加者に提示する必要があるのでは。

- ・WS1回目、2回目を終えて感じたことは、WSの継続性をあまり感じない。1回完結ではないと思うが、振り返りを含めてアイデアの積み重ねがあまりないように感じる。

⇒参加者の感じ方はいかが。アンケート意見等。

→参照：【資料2】長野市の事例、【資料3】WS全体の流れについて、

【資料4】実施計画へアイデアを反映する流れ

「WS全体の流れ」はあくまで進め方のイメージであるため、必ずしも一対一では結び付かない部分もありますが、まずはこのイメージと長野市の事例を用いて補足説明する時間を次回WS内で設け、不安感の解消を図りたいと思います。

■合同部会の委員

- ・部会から委員を選出したが、代表者（部会長等）ではない。発言に部会を代表する権限はない。

- ・部会の班ごとにアイデアを出したが、部会の意見として整理していない。

→前回選出して頂いた合同部会出席者は、各部会の暫定的な代表者という認識しています。

前回はWS自体の参加者が少ない状態で選出して頂いている現状も踏まえ、6/2に合同部会の役割について共通認識を形成したうえで、再選出が必要な部会があれば第3回WSで相談しなおして頂く、という方針で進めます。

また部会としての意見のまとめ方ですが、事業についていったんのまとめを行う第3回WSより、班ごとでなく部会ごとでのグループワークに切り替える予定です。参加者多数により2班に分けざるを得ない場合は、部会の代表者2名に必ず別々の班に入って頂くことで、ご意見の取りこぼしを防ぎます。

■ 合同部会の役割、検討する事項

- ・ 何を話す場？ 決定する場ではない。
- ・ 事務局案をWSの前段で確認・協議する場？
- ・ 市民がやりたいことと、利用規則事務局案に齟齬がないかどうかを検討する場？
- ・ 合同部会は、複合施設の特性を活かせるよう、連携事業や利用規則の凸凹について検討・調整する場ではなかったか。

⇒これを満たすためには、部会の組織化、部会長・副部会長といった代表者が委員となるべきではないか。

→参照資料：【資料3】組織連携サイクル、【資料5】合同部会キックオフ議題案

合同部会に求める機能は、主に各部会のご意見を集約し市と意見のすり合わせを行ったり、部会間の連携や協働に向けて協議したりすることです。市民がやりたいことと事務局案とは必ずしも一致するとは限らないため、合同部会にはそのすり合わせの場という役割を担って頂きます。また部会としての意見を合同部会へ持ち寄って頂きやすくするため、第3回以降の市民WSの班分けについて再検討を行います。

■市民ワークショッププログラム事例(長野市芸術館)

○概要

平成22年から25年4月まで長野市民会館市民ワークショップとして活動し、勉強会やイベントのための企画会議を開催して新しく創る市民会館について議論を重ねた。

25年の4月に長野市民会館市民ワークショップは役目を終えたが、その後有志によって「長野市芸術館サポーターズ倶楽部」として新たにスタートしている。

市民会館は、平成28年5月8日に長野市芸術館として開館した。

「長野市芸術館サポーターズ倶楽部」の目指すこと

1. 市民参加

長野市芸術館が多くの人に愛され、多くの人が集まり、賑わい、市民が主体のホールとなるため、市民の参加を応援(サポート)する。

2. 関連団体との連携

市内に数多くある文化芸術団体のパイプ役となり、市民文化芸術活動の窓口となる。

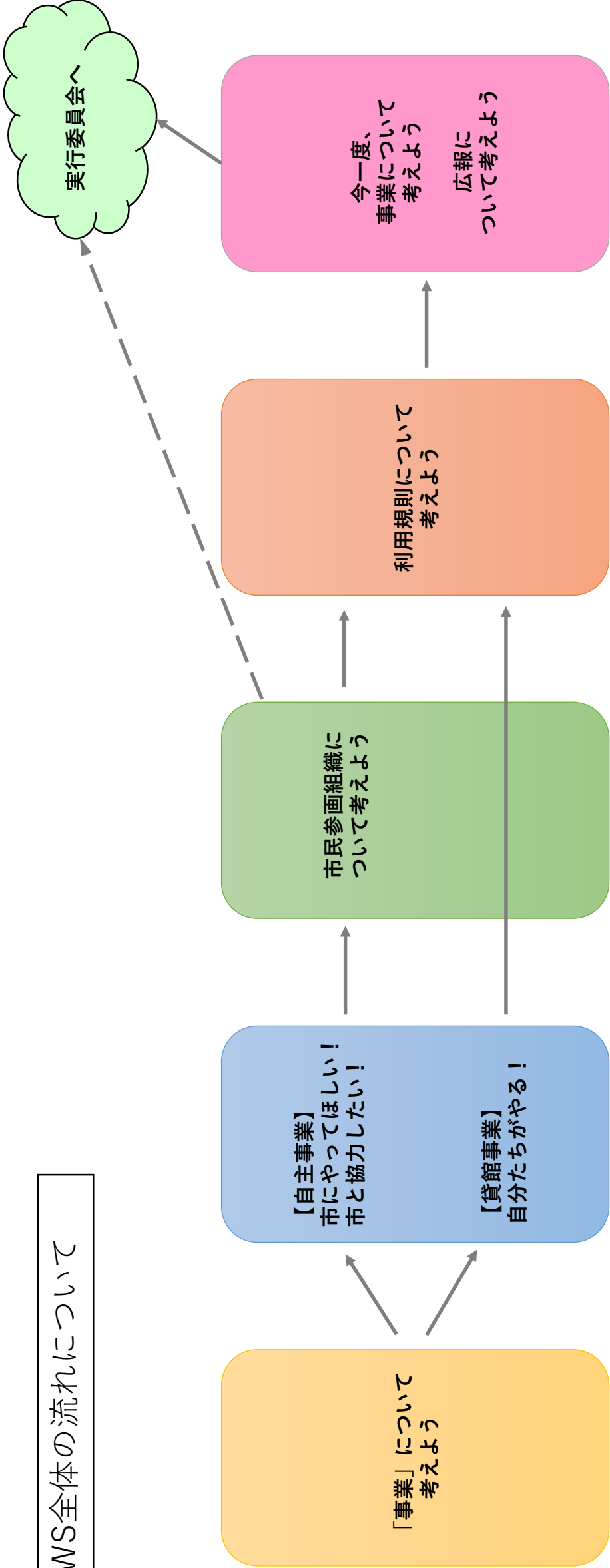
3. 将来への橋渡し

子供達が文化芸術にふれる機会を増し、長期的なビジョンで将来の文化芸術の担い手を育成する。

○ワークショップテーマ一覧

回数	テーマ
第1回	長野じまん、長野ふまん
第2回	マニフェスト！もしも私が館長さんなら・・・
第3回	来年度の事業はこれで行きます！事業担当からの提案
第4回	大風呂敷をちょっと畳もう…コンセプト・運営管理計画案の検討
第5・6回	私はこんなホールがほしい！ホールの機能と規模
第7回	こんな場所、あんな機能もほしい！施設を構成する機能について
第8回	私にもわか建築家！ブロック模型ワークショップ
第9回	①敷地について、②ホールの性格について、③ホールの規模について
第10回	意見交換今日こそ風呂敷をたたもう！2
第11回	今日という今日は、風呂敷をたたもう…！
第12回	「さて、これから…！！」今後の市民WSのあり方について
第13回	私にもわか建築家！その2ブロック模型ワークショップ
第14回	基本計画に必ず載せたい！大事なことを確認しよう
第15回	本当におさまるの？？基本計画とモデルプランについて
第16回	一緒に仲良くできるかな…!?市庁舎と市民会館

第17・18回	市民会館建設の必要性について
第19回	こんな事業を目指します！自主事業の基本方針
第20回	模擬ディベート『ああ言えば、こう言う？自主事業にまつわる主張！』
第21回	『運営主体』の『組織』って?? 運営管理組織のポイント
第22回	運営に関わっていききたい！市民参加組織の基本方針
第23・24回	こんなルールがうれしいなあ！利用規則の基本方針
第25回	こんな施設にしたいんだ！ 設計者に伝えたい運営管理計画の特徴と施設計画への要望
第26回	運営管理の大事なキーワード！基本コンセプトに加えたいこと
第27回	私たちが気になっているのはココ！ 運営管理計画で一番話したかったことを徹底的に話そう！
第28回	こんな楽しいエントランスが欲しい！ 市庁舎・市民会館の共用エリアについて考えよう
第29回	プロポーザル案 どう見る？どう読む？ここをもっとこうしたい！ プロポーザル案の気になるところ、言っておきたいこと・・・
第30・31回	いやいや、まだまだこうしたい！運営管理計画のココが大事！ その1～その2
第32回	運営管理基本計画概要版(修正版)の中間報告
第33・34回	いやいや、まだまだこうしたい！ 運営管理基本計画のココが大事！その1、その2
第35・36回	今年度はこんなことがしていきたい！ 市民ワークショップから始める開館準備！
第37・38回	創造支援部門・アートマネジメント部門について再確認しよう
第39・40回	基本設計(案)への意見まとめ
第41回	これからの市民ワークショップについて
第42～45回	これからの市民ワークショップについて整理しよう！ 次回のプレイベント、どんな内容にしようかな？
第46回	①プレイベントの反省&次に向けて、②財団の設立について
第47回	①市民WSのあり方と次のプレイベントに向けて ②運営体制について
第48回	①市民ワークショップの活動について、②次回のプレイベントについて
第49回	①市民参加組織について、②次回のプレイベントについて
第50回	市民参加組織について2
第51・52回	運営管理実施計画(案)についての意見のまとめ



第1回

自由にアイデアを広げる

第2回

誰がやるか？／いつやるか？の視点から、事業について整理する

第3回

「自主」に分類された事業を、より効果的に実現させる組織の在り方を考える

第4回

「貸館」の考え方を基に、市民が使いやすい施設にするためのルールを考える

第5回

これまでのWS全体の流れを踏まえて、事業・広報の在り方について話し合う

◇市民ワークショップのアイデアを実施計画に反映する具体的流れのイメージ

○市民ワークショップ(アイデアを出していただく場(【資料6】参照))

部会	第一回ワークショップ発表内容(抜粋)
食育	○食育の年間行事 キーワード:食、童心に帰る、子どもも楽しむ ・これまで佐伯市で開催していないような意識・レベルの高い食の催し物 ・寿司、魚、塩、ごまだしなど佐伯の食材を用いたフェス ・全てのイベントに音楽を絡め、市民はもちろん佐伯市以外からも人を集める
子育て	○親子で一緒に参加できる事業 ・季節の行事を年間に散りばめる ・子ども達がお年寄りの方、障害を持った方含め様々な人と一緒に参加できるイベント ・城山に絡めた親子イベント(自然体験、外で遊ぶ) ・親子クッキングなどはママたちを講師にすることで、家族が集う施設にしたい
商工 観光 情報発信	①「想い」 ・佐伯の歴史を学ぶ、先人が築いた文化を守る ・佐伯をもっと良くしたい ○食(佐伯の得意な部分) ・食の観光ルートを作り発信 ・佐伯の食材を使って新たなものを考案 ・肉フェス、市民バーベキュー
市民協働	○人 ・職人まつり →子ども達が一流の技術を持った職人や生産者と直接交流できる事業

考 察

佐伯に根付いている特色ある文化、受け継がれてきた文化を広め、
伝えていきたいという想いが共通して読み取れる

○行政(計画策定を行う場(【資料6】参照))

基本計画に、市民の想いを加味して、実施方針を策定する。

基本計画における事業計画の基本的考え方(抜粋)

地域の文化的資源を活用した事業展開

- ・吹奏楽や合唱、舞踊、ミュージカルなど市民による文化活動と連携を図りながら、ワークショップや鑑賞事業など様々な事業を展開することで、人々の興味「やってみたい」を促進し、活動のすそ野を広げます。
- ・次世代を担う子ども達に佐伯市の文化や活動を引き継ぎ、本施設を拠点に継続的な活動が行える環境を整備します。



市民 WS 結果より考察された、「佐伯に根付いている特色ある文化、受け継がれてきた文化を広め、伝えていきたい」という市民の想い



☆管理運営実施計画の記載例

・事業計画の実施方針 (【資料2②】P10の記述に対応)

「佐伯に受け継がれる地域文化を受け継ぎ、発展させる」

佐伯に根付く特色ある文化を後世に伝え、また、佐伯市以外の地域にもその内容を広く周知することで、佐伯独自の文化をより発展させます。

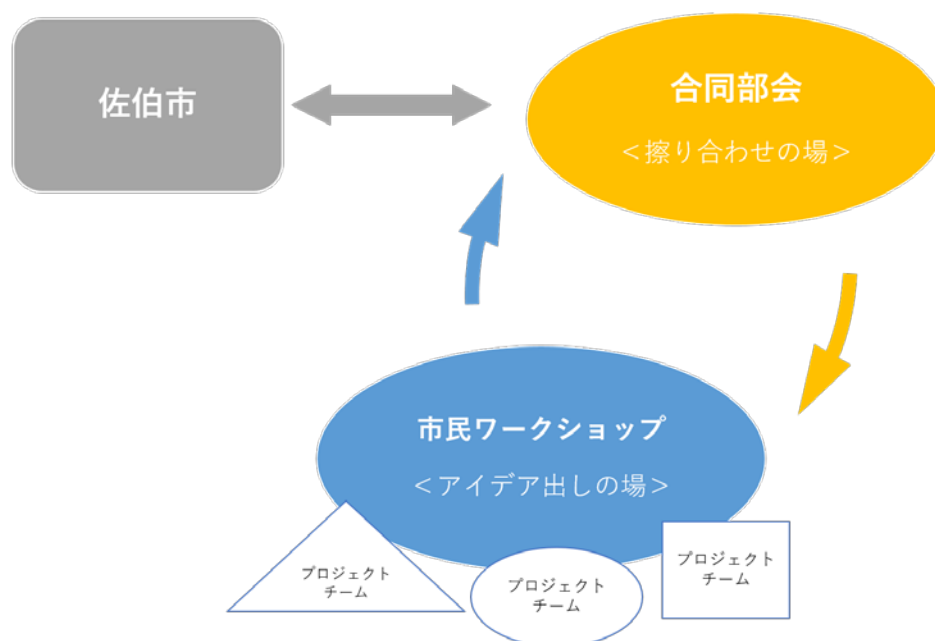
・具体的事業例 (【資料2②】P26～27の記述に対応)

区 分	内 容	事業例
普及・育成 事業	多種多様なワークショップに併せて、アウトリーチ活動を行うことで、各種活動の普及と次世代を担う人材及びそれらを支える人材を育成する事業	佐伯食材調理ワークショップ
参加・交流 事業	市民参加によるフェスティバルや国際交流イベントの開催といった参加・交流事業	佐伯食材フェスティバル
地域・発信 事業	地域に根差した伝統芸能を活用するなど、地域の魅力を発信する事業	子ども達と一流職人交流まつり、城山親子イベント

■合同部会キックオフ ～合同部会の位置付けを考える～

市民ワークショップを構成する各部会より2名ずつ代表者を選出し、合同部会を組織します。合同部会は、以下の機能を担うことを想定しています。

- ・各部会内のアイデアを、市および他の部会と共有する
- ・市民の意見と市の見解とを照らし、より現実的なアイデアにする
- ・複合施設の特徴を活かすべく、部会間での連携や調整を行う
- ・市による管理運営実施計画案作成に際し、部会を代表して意見を寄せることで、実施計画策定に協力する



組織連携イメージ

また市民参画組織の一つとして、プレイベントの実行組織であるプロジェクトチームを立ち上げます。市民ワークショップの参加者を中心に組織し、これまでの市民ワークショップにて頂いた多くの事業に関するアイデアを元に、プレイベントの実現を目指します。

合同部会は市民の意見と市の見解を擦り合わせ、方針を整理してプロジェクトチームへ託す、という役割を担うことを想定しています。

検討課題

- ① 合同部会の役割について、過不足はないか？（参考資料 1 参照）
- ② プロジェクトチームとどう役割分担するか？
 - ・プロジェクトチームをどのような組織にするか（参考資料 2 参照）
 - ・プロジェクトチームと各部会との関係
 - ・どの案をプレイベントとして実行に移すかの決定権をどちらが持つか
 - ・部会間の人数調整を行うべきかなど
- ③ プロジェクトチームをどのように組織するかの方針（参考資料 3 参照）
 - ・まずはワークショップメンバーでやってみる？
 - ・ワークショップメンバー＋新規に募集してみる？

参考資料 1 合同部会にて想定される検討課題の例

【仮定】

第 2 回市民 WS にて高校生チームより出された事業案『カボスブリを目玉とする一連の事業』を市と市民との共催事業として実施する場合



【検討課題例】

- ① 各部会の担当、連携について
→どの部会が何を担当するか？
部会間の協力・調整が特に必要なパートは？ など
- ② 市と市民の役割分担
→どこまでの調整を市ができるか？やるべきか？
どこまで市民が行動できるか？
- ③ 実現が難しいアイデアとその理由の洗い出し
→市民によるカボスブリの養殖は可能か？事業者の協力は得られるか？
公共施設である「交流館の自主事業」として実施するに資する公共性があるか？
衛生面の問題は？ など
- ④ 市民参画により不可能を可能にする手段はないか検討
→市民のどのような協力があれば問題点をクリアできるか？
市に求めるものは何か？ など
- ⑤ プロジェクトチームへ、市および部会間での協議結果を提示するためのまとめ

プレイベント	オープニング事業	通年事業						
		4	5	6	7	8	9	
高校生だけでなく 佐伯市民から商品案を募集！	商品開発を見学							
駅前で広告宣伝	商品開発フェス							
電車内でイベント広告								
デザイン募集（一般の部、学童の部）	大手前広場イルミネーション							
テーマ曲募集	ヨシカゼ							
市外に出張して宣伝する 佐伯の魚の美味しさを宣伝する オープニングで食べる魚を育てる （共通で知る） ネットで拡散 養殖場見学	カボスブリの解体ショー 大きな魚市							
佐伯の中心で愛を叫ぶ 最初は県内放送、次は全国放送（お願いする）	愛を叫ぶをしつらいとおもう。 からの全国放送							
お茶講習会	試飲会（お茶）山もの							

< 第 2 回市民 WS 高校生チームの模造紙イメージより抜粋 >

3. 市民参画・協働の検討

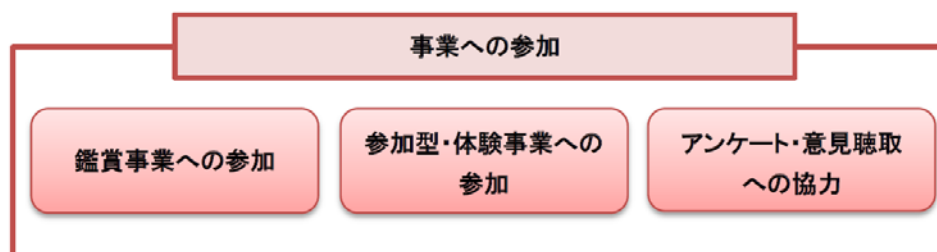
(1) 市民参画組織の検討

本施設に関係する様々な市民参加や市民活動が活発化するように、市民参画・協働による施設運営を検討します。

【市民参画・協働のイメージ図】

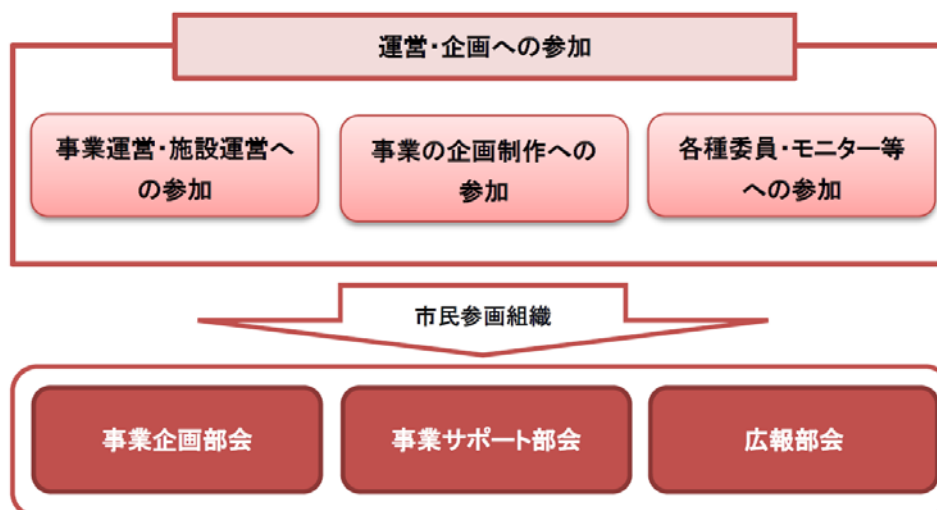
◇STEP 1

市民が事業に参加して、施設の設置目的や活動に対する興味・関心を醸成することで、「やってみたい」という気持ちを促進し、活動のすそ野を広げます。

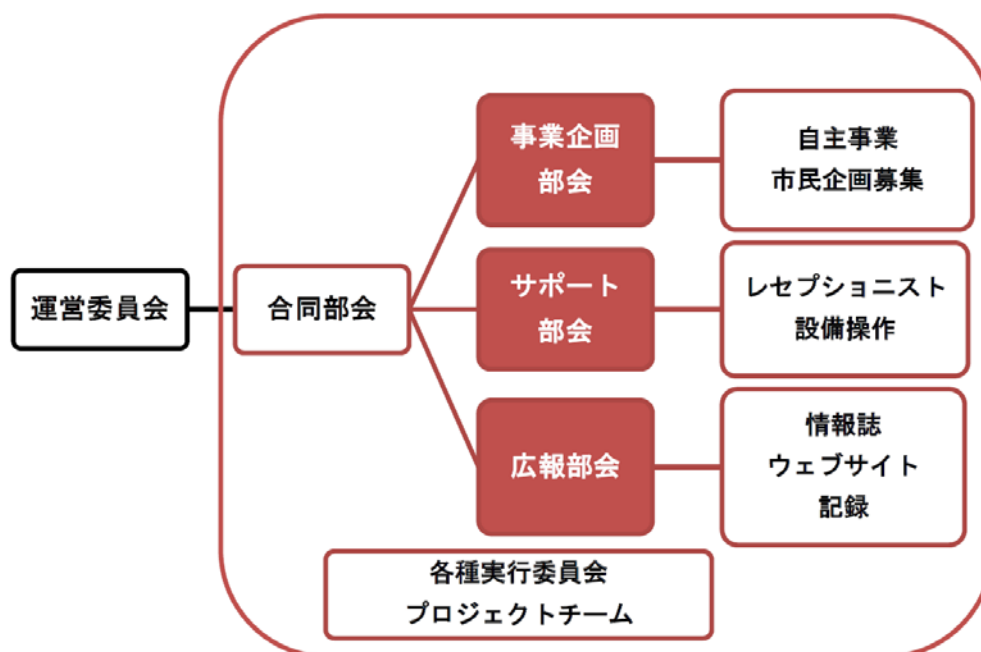


◇STEP 2

施設の活動に共感した市民が市民参画組織に加入することで、施設運営や事業企画運営に主体的に関わり、にぎわいの創出に寄与します。



【市民参画組織のイメージ図】



○運営委員会の委員は各部会代表者、市が選定した委員等で構成し、事業や運営方針について検討します。

○事業企画部会・サポート部会・広報部会の各部会は高校生以上の市民で構成します。

○部会の構成等の詳細は引き続き検討します。

○部会間の情報共有・調整・協議・合意形成は合同部会にて実施します。

○別途、事業や各種調査を実際に行う実行委員会を市民サポーターで組織することで、より強力な市民参画・協働による施設運営を目指します。

(2) 市民参加の促進制度

ボランティアの活動報酬として会員通貨を発行して施設の使用料やチケット料金として使える制度を構築する等、市民参画を促進する仕組み作りを検討します。

プレイベント実行委員会 第1回市民講座～導入編～ なんでもアンケート

お名前：_____

1. 本日の感想を、なんでもどうぞ！

2. プレイベント実行委員会はメンバーを募集中です。

あなたの「これまでの活動」や「これからやってみたいこと」、そしてあなたの知っている「素敵な人」「素敵な取り組み」について、ぜひ教えてください！

3. プレイベント実行委員会に参加していただける方はメールアドレスもしくは
FAX 番号をご記入ください。今後のワークショップ日程などをご連絡します。

※ご記入いただきました個人情報は、プレイベント実行委員会の運営管理のお知らせにのみ利用させていただきます。

■メールでのご連絡をご希望の方

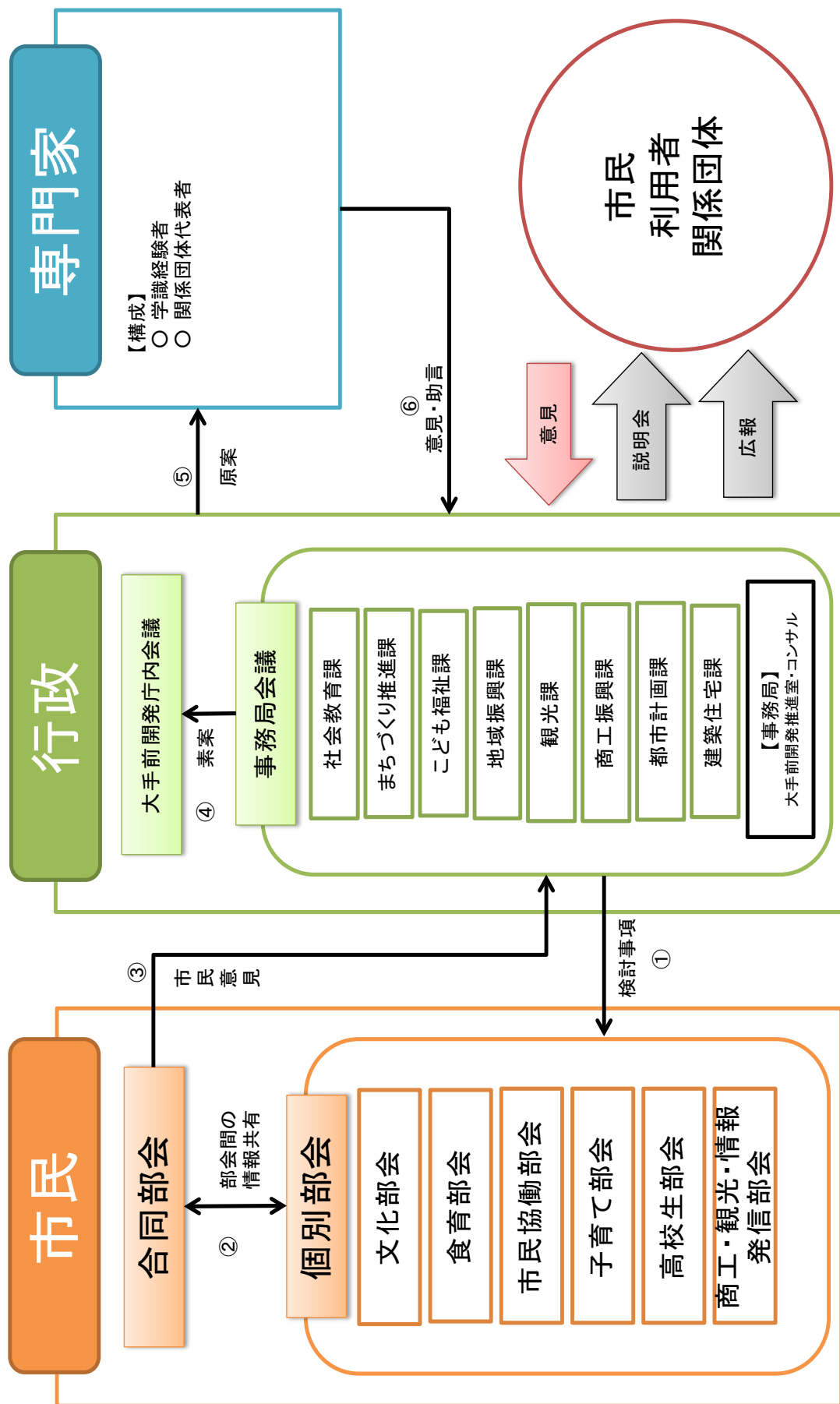
メールアドレス：

■FAX でのご連絡をご希望の方

FAX 番号：

☐ お知り合いが参加したい場合など、ご相談については大手前開発推進室にお問合せください。 Tel：_____ Email：_____

管理運営実施計画検討体制



打ち合わせ記録

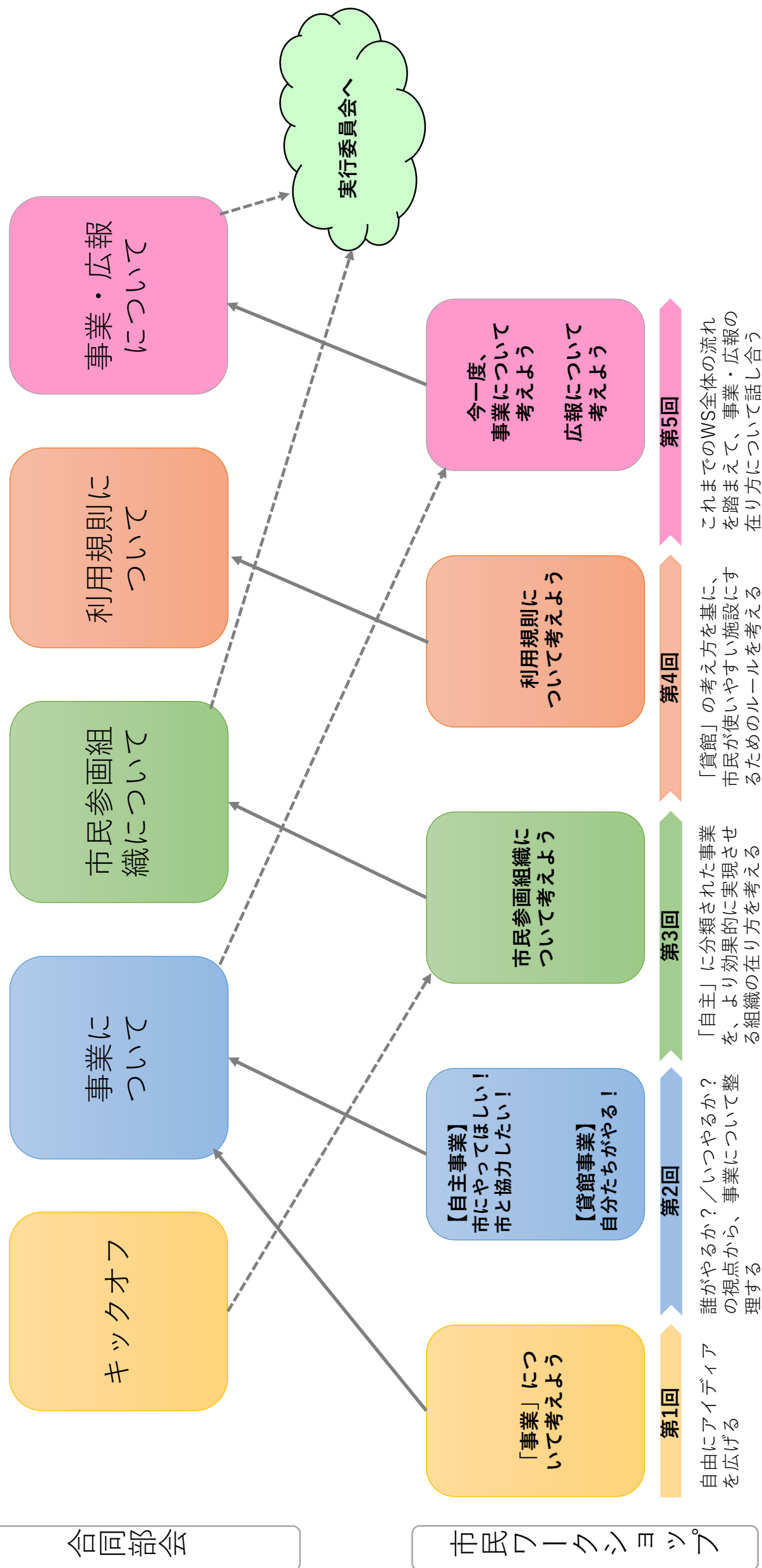
場 所：佐伯市役所

日 時：平成 29 年 6 月 2 日 13:00～15:30

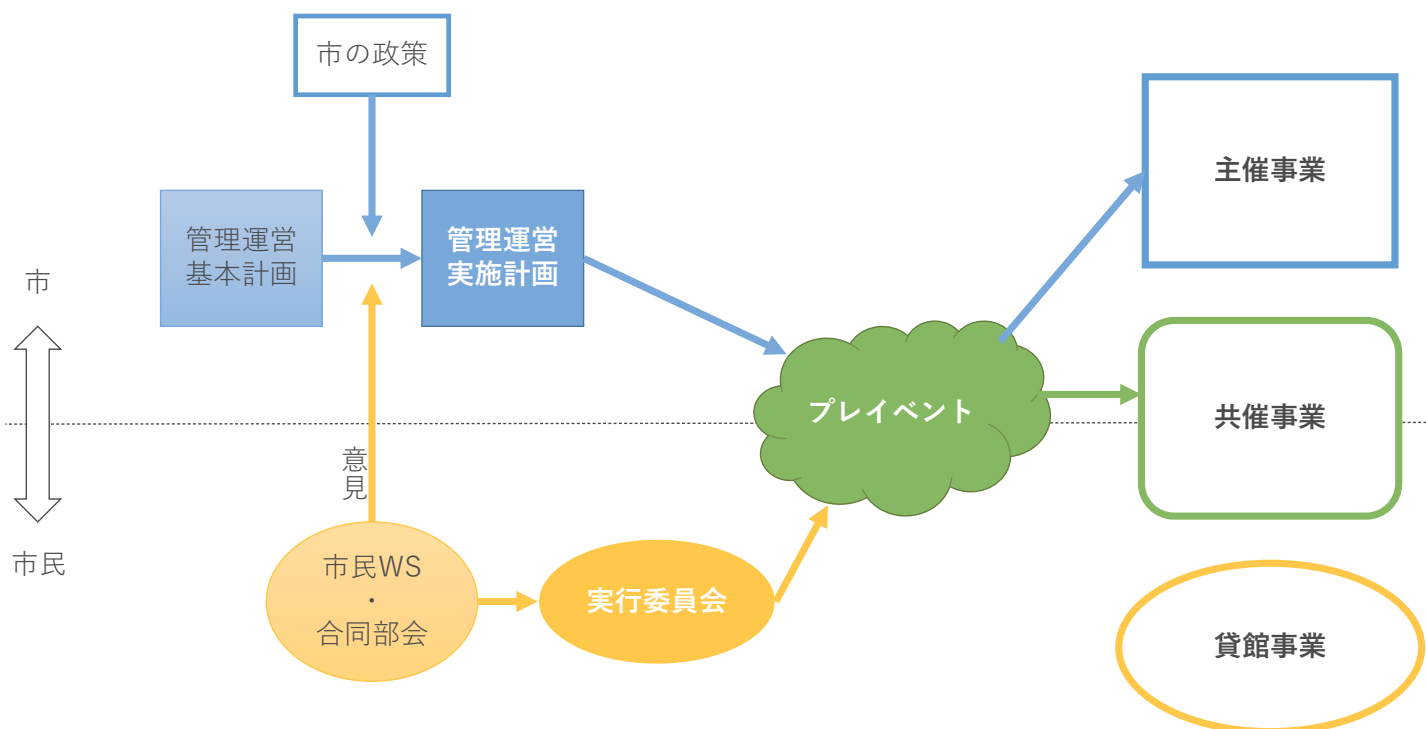
議 事：

1. 合同部会キックオフに向けた事務局会議第 2 回

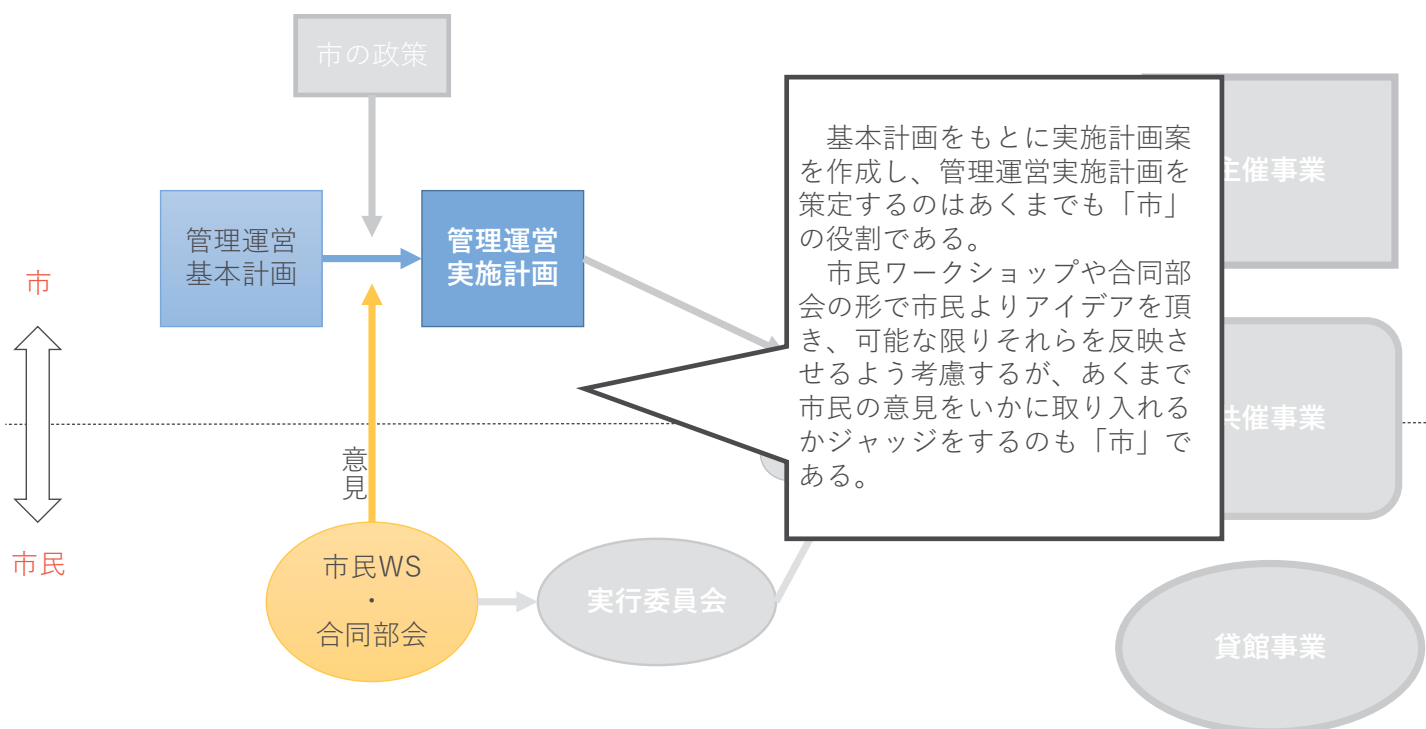
- ・ 5 月 31 日の打ち合わせ後に関係各課より収集された意見を基に、合同部会キックオフでの議題の修正版を提示した。議題タイトルも微修正し、以下二点とした。
 - ・ 合同部会の役割について
 - ・ プレイメントに向けたプロジェクトチームの発足について



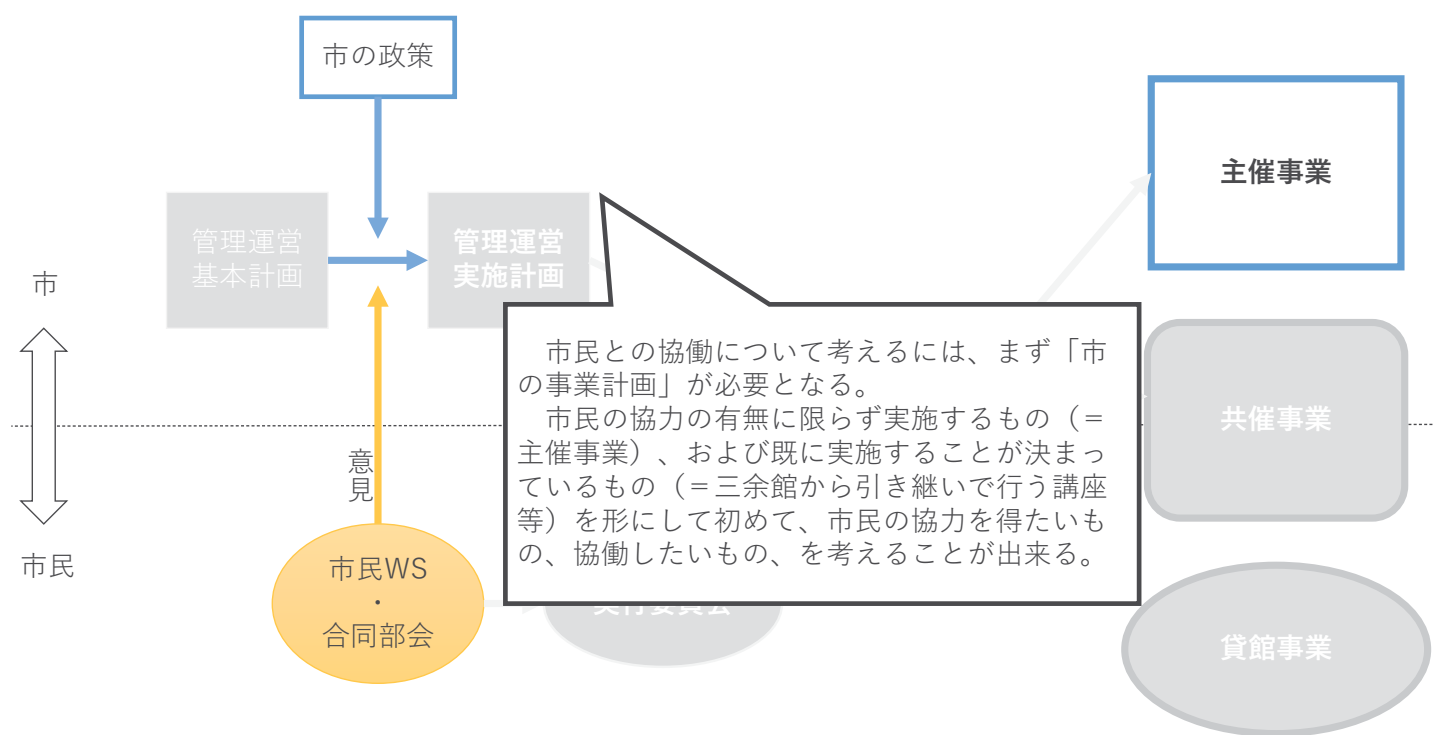
事業計画における市と市民の役割分担



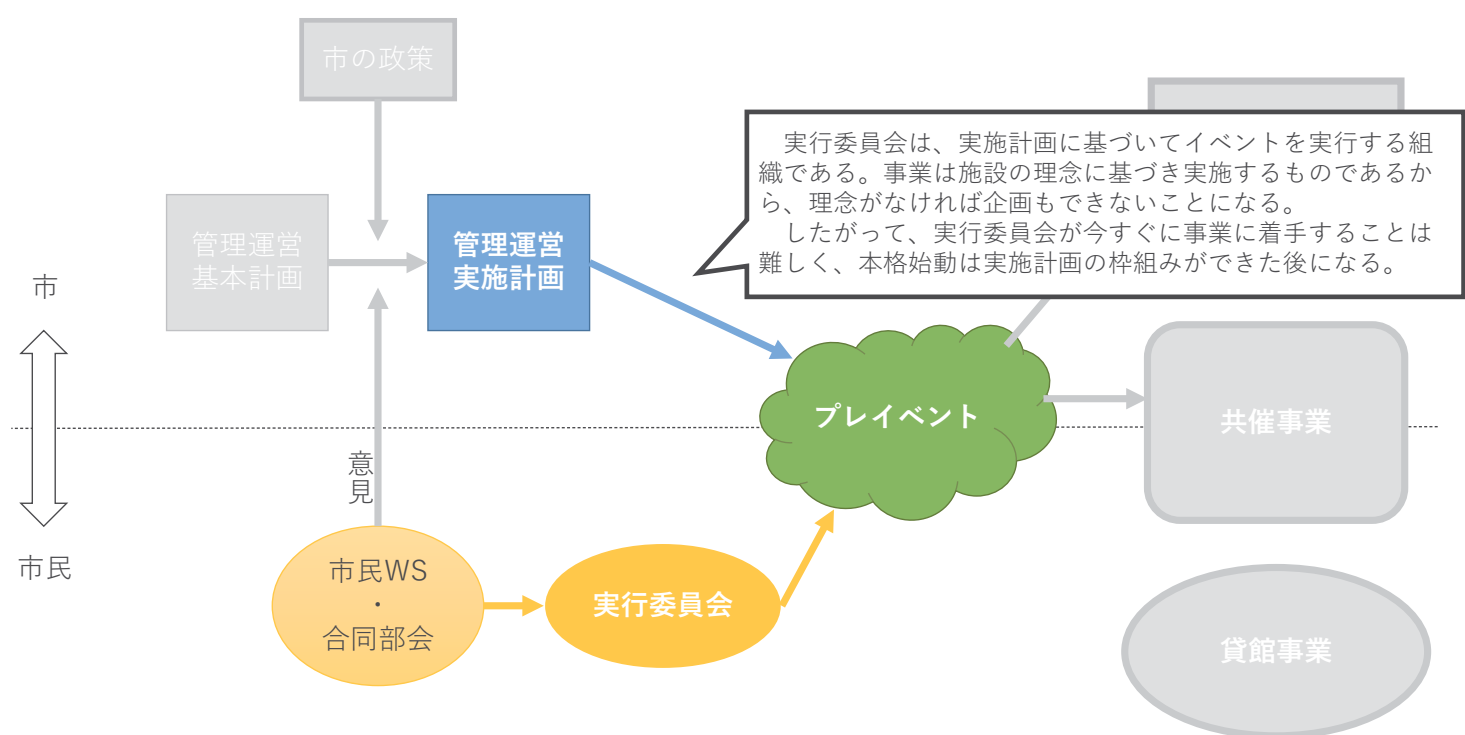
事業計画における市と市民の役割分担



事業計画における市と市民の役割分担



事業計画における市と市民の役割分担



打ち合わせ記録

場 所：佐伯市役所

日 時：平成 29 年 7 月 5 日 13:00～15:30

議 事：

1. 第 1 回合同部会に向けた事務局会議

- ・第 1 回市民ワークショップ、第 2 回市民ワークショップで出されたアイデアを受けて、シアターワークショップが作成した事業実施方針案を提示し、その内容確認を行った。

2. 第 4 回市民ワークショップに向けた事務局会議

- ・第 4 回市民ワークショップのテーマは「市民と共に行う運営体制づくり」であることをシアターワークショップより説明した。
- ・第 4 回市民ワークショップに向けて、関係課として市民との役割分担をどのようにしていきたいと考えるか検討しておいていただくよう、シアターワークショップより依頼した。

< 事業全体 >

事業案（第1回市民WSより）		市民が期待する効果	キーワード	実施方針
鑑賞会（音楽、ミュージカル、伝統芸能、美術、ダンス、芝居） スポーツ選手との交流会 講演会、トークショー 展覧会（写真、科学、美術、絵本原画、ウェディングドレス） 子ども向け公演（コンサート、映画祭、人形劇、パネルシアター） プロスポーツ観戦 小学校へ音楽アウトリーチ 音楽練習 音楽コンクール 世代間交流会 ワークショップ（楽器、アート鑑賞、家づくり、布ナプキン、イラスト、世界遺産、おむつ作り、工作、実験） 絵画教室 プロによる料理セミナー 料理教室（男性向け、子ども向け、ママ向け） 子育て講習（親向け、中高生向け、ブックスタート） 市民講師による講座 手作り体験（梅干し、しいたけパン、味噌、野菜栽培） 親子体験（ベビーマッサージ、エアロビ、料理教室、お化け屋敷、お人形お泊り会） 〇〇体験（巨大な食べ物作り、発酵実験、茶道） 市民参加ミュージカル 市民交流会（おすすめ本紹介、季節の遊び、〇〇愛好家、移住者） 世代別交流会（新1年生、卒業生、節目の年齢、青年の主張） 食育従事者交流会 周辺子育て福祉施設との連携、交流 国際交流イベント 市民協働まつり コンサート（無料、野外） 市民大会（音楽、演芸、クイズ、ファッションショー、スピーチ） 映画祭（食映画、青春映画） ジャズ音楽祭 本の持ち寄りによる市民図書館 移動動物園、ドッグラン 市民運動会 〇〇祭り（季節、男女、説教、各種食べ物） 料理教室（佐伯食材、伝承、魚の捌き方、季節） 子どもの〇〇遊び（昔の遊び、わらべうた、手遊び） 地域運動企画（城山ウォーク、スタンプラリー） 〇〇体験（食べられる木の実探し、農業） 城山アートの展覧会 討論会（市民、県内市長） セリ、市場バックヤードツアー 佐伯を知ろう（自然、特産物、歴史） 風景コラージュのアート制作 情報発信（お手伝い募集、SNS活用、佐伯の魅力、求人情報、観光ルートマップ） 友の会制度	A	著名人の公演・展示等を鑑賞できる	鑑賞	①あらゆる分野の優れた公演や展示等について、市民が鑑賞・参加する機会を提供すること
	B	学びや体験の機会を得られる	体験・学習	②施設が市民活動の練習や発表、体験の場となり、市民が知識や技術を身に付けられること
	C	一緒に活動する仲間を増やすことができる	参加・交流	③誰もが気軽に立ち寄ったり参加したりすることで、あらゆる人々と交流を深められること
	D	誰もが気軽に参加できる		
	E	佐伯ならではの自然や文化を再発見できる	地域資源活用	④佐伯市が持つ文化、伝統、自然、人材といった地域資源を活用し、まちの魅力を継承したり発信したりすること
	F	佐伯市の情報をまとめ、それを内外に発信できる		

事業案（第1回市民WSより）		市民が期待する効果	キーワード	実施方針
市民文化祭 地元楽団による音楽祭 佐伯の企業に関する展覧会 研究開発（佐伯の技術を活かした製品づくり、魚スイーツ、大学とのコラボ） 発表会（ダンス、伝統芸能、楽器） 巨大壁画のアート制作 郷土料理祭り マルシェ、朝市、夜市、蚤の市、屋台 職人まつり 花火大会 ライトアップ、イルミネーション 国際大会、学会 企業、大学との連携（企業研修、サテライトキャンパス） 式典（入学式、成人式、卒業式、表彰式、結婚式、金婚式） クラス会 佐伯市民の日 アイドル育成 植樹、植栽 市長誕生祭 市役所wedding こどもの日イベント 子ども身体測定会、運動会、体力作り 婚活イベント、婚活教室、シルバー婚活 自閉症啓発ウォークブルーライト LGBTカラーマラソン 社会貢献（リサイクル、ゴミ拾い、募金活動） 独居老人や孤独な子供向け共同キッチン 子育て、療育サポート 学習、生活、創業支援（宿題サポート、一人暮らし準備、他校との合同授業） 知育学習（英語、小麦粉粘土、俳句、短歌、読み聞かせ）	G	佐伯の文化をアピールできる	にぎわい 創出	⑤佐伯市の文化や施設の特性を活かして市内外から人が集まる仕掛けを作り、周辺地域を巻き込んで賑わいを生み出すこと
	H	佐伯市以外からも集客できる		
	I	佐伯愛を醸成できる	愛着 醸成	⑥佐伯市および交流館ならではの行事への参加を通して、市民のまちに対する愛着を育むこと
	J	多様な市民生活を支えることができる	多様性	⑦あらゆる世代、立場の市民が理解・協力し合い、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりに寄与すること

【市：基本的な考え方】	【市民WS】		
	一致	近似	該当なし
○世代を超えた交流機会の創出 市民参加によるフェスティバルなど、市民がだれでも気軽に参加できる事業や施設内のフリースペースに人が集まる仕掛けを行うことで、世代を超えた交流機会を創出します。	③誰もが気軽に立ち寄り参加したりすることで、あらゆる人々と交流を深められること		
○地域の文化的資源を活用した事業展開 吹奏楽や合唱、舞踊、ミュージカルなど市民による文化活動と連携を図りながら、ワークショップや鑑賞事業など様々な事業を展開することで、人々の興味「やってみたい」を促進し、活動のすそ野を広げます。			
次世代を担う子ども連に佐伯市の文化や活動を引き継ぎ、本施設を拠点に継続的な活動が行える環境を整備します。		④佐伯市が持つ文化、伝統、自然、人材といった地域資源を活用し、まちの魅力を継承したり発信したりすること	
○施設から市全域に広がる事業展開 日常的に来館することが難しい方々のために、各地域の施設、学校等への出前事業を行うことで、施設の設置目的や活動に対する興味、関心を深めます。			
○複合施設の特徴を活かした事業展開 本施設で行うあらゆる事業において、施設、機能の連携を考えた多角的な展開を行います。			
貸館事業においても、複数の施設を活用した展開を助言するなど、利用者に本施設の有効な使い方を提案します。			
			①あらゆる分野の優れた公演や展示等について、市民が鑑賞・参加する機会を提供すること
			②施設が市民活動の練習や発表、体験の場となり、市民が知識や技術を身に付けられること
			⑤佐伯市の文化や施設の特徴を活かして市内外から人が集まる仕掛けを作り、周辺地域を巻き込んで賑わいを生み出すこと
			⑥佐伯市および交流館ならではの行事への参加を通して、市民のまちに対する愛着を育むこと
			⑦あらゆる世代、立場の市民が理解・協力し合い、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりに寄与すること

※着色セルは一方のみが言及した項目

<プレイベント>

事業案（第2回市民WSより）		市民が期待する効果		キーワード	実施方針
音楽祭パレード	市外に出張して宣伝する	A	各地へ施設の存在や取り組みを知らせることができるとができる	情報発信	①周辺地域に対し施設の存在や取り組みについて周知を図ったり、あらゆる媒体を用いて最新情報を発信したりすること
	最初は県内放送、次は全国放送(お願いする)				
SNSで情報	大手前から周辺地域へ、発信の場	B	交流館の現状を知らせることができるとができる	期待感	②開館へ向けて、市民の期待感を高めること
	駅前で広告宣伝				
電車内でイベント広告	ネットで拡散	C	開館へ向けて市民の期待感を高めることができる	開館準備	③市内の様々な情報を集約しデータベースを作ったり、市民参画のきっかけや人材育成の起点となる取り組みを行ったりすることで、開館へ向けた準備を進めること
	子供たちによる仮囲いアート				
工事中の見学会	オープニングで食べる魚を育てる	D	市内の情報を集め、後の事業に役立てられるデータベースを作る	既存活動の活用	④既存の地域団体や個人の活動を活かしたり、発展させたりすること
	佐伯市民から商品案を募集				
イルミネーションデザイン募集	テーマソング募集、作成	E	市民参画のきっかけや、開館後に向けた人材育成の起点となる	体験・学習	⑤市民が開館前の準備期間ならではの学びや体験の機会を得られること
	食に興味がある人(希望者)のデータ集め				
講師ができる人のデータベース作り	食関連事業所のランク付け	F	既存の地域団体や個人の活動を活用し発展させることができる		
	データ収集（宿泊者数、来店数、外国者数）				
年代別ニーズを把握	イルミネーション装飾作業	G	学びや体験の機会を得られる		
	食専門ガイド				
会員を募集	ボランティア へが出来ます やります				
	周辺エリアを連携できる人を育てる				
周りの人たちをワクワクさせて引き込む	婦人会地区別発表会				
	佐伯市内の表現者によるグループ展				
よろなな塾	一灯照隅				
	食べる通信				
ダイノジのお笑い講座	養殖場見学				
	お茶講習会				
ブレゼン	子どもに絵を描いてもらう				
	公園の農地化と、そのための土づくり				

年代表女子会	H	市民の輪を広げる	参加・交流	⑥多くの参加者との出会いや交流を通して市民の輪を広げられること
佐伯の中心で愛を叫ぶ 国際交流イベント				
ヒットパレードcb 佐伯で復活！！				
親子城山のぼり				
城山で宝さがし				
城山石垣のぼり				
子どもも忍者！！大人も忍者！！				
ツリーハウスデザインを募集				
ツリーハウスターザンロープ				
忍者ずきん作り				
しゅりけん作り				
ダイノジのお笑い講座				
寿司アカデミー				
ごまだし作り伝授				
伝統料理伝授系イベント				
ヌーヴェル・キュイジーヌ佐伯版10ヶ条をつくる				
佐伯の魚の美味しさを知ってもらう				
佐伯らしく婚活イベント				
佐伯の昔の結婚式、イベントを調べる				
あなたの結婚式を教えてください				
人物マップ 夢を与えてくれる先輩(定期的)				
企業マップ 1/1の(ユニークな)企業(紹介)				
佐伯愛人物伝				
みそまつり				
魚さばきましょー				
寿司レンジャー玉子イエロー、まぐろレッド！！				
佐伯にまた来たいと思うこと				
新しい観光地を創る				
	J	佐伯の文化をアピールできる	興味喚起	⑧佐伯市の文化を活用し、市内外へ向けてまちの魅力をアピールすることで周辺地域からの興味関心を喚起すること

＜プレイベント比較表＞

【市目的】	【市民WS】	
	一致	近似 該当なし
大手前開発事業の周知		①周辺地域に対し施設の存在や取り組みについて周知を図ったり、あらゆる媒体を用いて最新情報を発信したりすること
開館に対する期待感の向上	②開館へ向けて、市民の期待感を高めること	
開館後の利用者の育成		⑦市民自らが楽しみながら佐伯ならではの魅力を再確認し、これから施設を活用したりまちの賑わいを生み出したりしていくためのステップとなること
市民参画・協働の取組の推進		③市内の様々な情報を集約しデータベースを作ったり、市民参画のきっかけや人材育成の起点となる取り組みを行ったりすることで、開館へ向けた準備を進めること
事業実施における課題の把握と解消		

【市方針】	【市民WS】	
	一致	近似 該当なし
交遊館の名称・愛称を募集することで、施設に対する愛着を醸成します。		②開館へ向けて、市民の期待感を高めること
建設予定地やその周辺地域で、誰もが参加しやすいイベントを実施します。		⑥多くの参加者との出会いや交流を通して市民の輪を広げられること
佐伯文化会館閉館セレモニーイベントと兼ねて鑑賞型のイベントや発表の機会を創出します。		
市内全域を対象とした出前事業を行い、大手前開発事業の進捗状況を周知するとともに、開館後の事業に対する参加者を育成します。		①周辺地域に対し施設の存在や取り組みについて周知を図ったり、あらゆる媒体を用いて最新情報を発信したりすること ⑧佐伯市の文化を活用し、市内外へ向けてまちの魅力をアピールすることで周辺地域からの興味関心を喚起すること
市内の各種活動団体と連携してワークショップを開催することで、開館後の利用者を発掘・育成するほか、開館記念式典の際の発表につなげます。		⑦市民自らが楽しみながら佐伯ならではの魅力を再確認し、これから施設を活用したりまちの賑わいを生み出したりしていくためのステップとなること
		④既存の地域団体や個人の活動を活かしたり、発展させたりすること
		⑤市民が開館前の準備期間ならではの学びや体験の機会を得られること

※着色セルは一方のみが言及した項目

<開館記念事業>

事業案（第2回市民WSより）	市民が期待する効果	実施方針
食のシネマ大上映会(食とのコラボあり)→毎月開催		
親子城山大ぼうけん		
城山の生き物探し（シカ、ムササビ）		
城山にトトロをよぼう（芋目とコラボ）		
市民トロトロ体操大会		
商品開発を見学 → 商品開発フェス		
大手前広場イルミネーション		
年代別大女子会		
カボスブリの解体ショー		
大きな魚市		
お茶試飲会		
佐伯らしい結婚式～年目の 初の 2・3回		
独歩祭（独歩作品集、イラスト、写真）		
佐伯市美術展（佐伯の風景）		
お笑い公開！！		
完成後のバックヤード見学会		
交流館構造完成見学会		
音楽祭		
佐伯食の祭典		
佐伯祭 1年間		
ハレの場、ワクワクの場、喜びのシェア おおすわけ		
全部やるフェス		
子供ミュージカル（大物）ゲストとのコラボ		
SNS映え投票		
イベントの情報発信		
町内パレード イベントごとにルート作り		
NHKスペシャルに佐伯の食を紹介してもらう		
愛を叫ぶ（全国放送へ）		
TOPシェフセミナー		
出身者（佐伯の）に出演をお願いする		
佐伯出身著名人リレートーク		
子供ミュージカル（大物）ゲストとのコラボ		
佐伯出身のアーティスト、芸術家などの展示		
佐伯出身 文化人、財界人 講演会		
本物の絵を展示		
参加ワークショップつき		
お笑い公開！！		
毎月一人ずつ個展		
展示する作家の講座		
市主体のコンクール（音楽、美術）		
核地図を作る まとめ役としての施設		
A	ブレイバントや通年事業と連続性を持つ	①ブレイバントで生まれたものを活用したり、通年事業へ活動を繋げたりできるような連続性を持っていること
B	開館を祝い、交流館をお披露目する場となる	②交流館の誕生を祝い、新たな施設のお披露目の場となること
C	広く交流館および佐伯市を宣伝できる	③様々な手段や媒体を用いて、広く施設の存在や取り組みを宣伝すること
D	開館記念ならではの華やかな公演を鑑賞できる	④佐伯出身の著名人をゲストに招くなど、本施設の開館記念ならではの華やかでハイレベルな公演を鑑賞したり参加したりする機会を提供すること
E	学びや体験、および発表の場を得ることができる	⑤市民が興味のあることについて学んだり、それまでの活動の成果を発表する場を得たりして、施設が市民一人ひとりの力を発揮できる舞台となること

事業案（第2回市民WSより）	市民が期待する効果	実施方針
食のシネマ大上映会(食とのコラがあり)→毎月開催 サンデーマーケットファーマーズマーケット SaiKiスーパーもち投げ大会 大人も子どもも！佐伯ぶれあいあいそび祭り 年代別大女子会 全世代向けフェス 愛を叫ぶ（全国放送へ） 佐伯食の祭典 親子城山大ぼうげん 城山の生き物探し（シカ、ムササビ） 城山にトトロをよぼう（宇目とコラボ） 市民トリートメント大会 竹を使って様々な巨大ブレイクームを作る 仲町を生かす ドローンフォトコンテストin大手前 キッズニアin佐伯 佐伯夜市の復活 サローネ・デル・グスト 佐伯版 まちであそぶ忍術修行(武家屋敷から本物の忍者が！) 木登り練習会(修行) カボスプリの解体ショー 大きな魚市 お茶試飲会 佐伯らしい結婚式～年目の 初の 2・3回 独歩祭（独歩作品集、イラスト、写真） 佐伯市美術展（佐伯の風景） 佐伯の食大試食会 旅行会社とツアーを合わせて組む 佐伯観光イベントのルート、お手本を作る 佐伯ありがとう帰って来いよ<胃袋つかみ> 同窓会 卒業パーティー 南海コレクション 里帰り	F 誰もが気軽に参加できる	⑥世代を超えて市民誰もが気軽に参加でき、訪れるたびに何かに出会える場として施設が市民に開かれていること
G 佐伯ならではの自然や文化を再発見できる		⑦佐伯市の持つ地域資源を有効に活用し、市民が身近な文化に改めて親しむとともに、広く来場者へ向けてまちの魅力を伝えられること
H 佐伯市以外からも集客できる		⑧佐伯市外の住民をはじめ、既に佐伯を離れたり、これから離れていたりする人々が、まちに愛着を持ちまた訪れたいと感じるきっかけとなること
I 佐伯愛を醸成できる		

<開館記念事業比較表>

【市目的】	【市民WS】		
	一致	近似	該当なし
交流館の開館を市民で祝う	②交流館の誕生を祝い、新たな施設のお披露目の場となること		
新たな施設の完成を市内外に広く発信	③様々な手段や媒体を用いて、広く施設の存在や取り組みを宣伝すること	⑦佐伯市の持つ地域資源を有効に活用し、市民が身近な文化に改めて親しむとともに、広く来場者へ向けてまちの魅力を伝えられること	
多様な市民活動の発展の契機		⑤市民が興味のあることについて学んだり、それまでの活動の成果を発表する場を得たりして、施設が市民一人ひとりの力を発揮できる舞台となること	
施設利用の促進			

【市方針】	【市民WS】		
	一致	近似	該当なし
プレイベントからのつながりや関係性を考慮した企画を市民参画で行い、多くの市民が「ハレの日」となる市民総参加の式典やイベントを実施します。		④プレイベントで生まれたものを活用したり、通年事業へ活動を繋げたりできるような連続性を持っていること	
開館後半年間から1年間をオープニングイヤーとして、長期間にわたって定期的にイベントを実施します。また、1年、5年、10年など周年事業も開館記念事業としてイベントを実施します。			
広く注目を集めるアーティストによる鑑賞事業や著名な講師による講演や教室、ワークショップなどの開催し、市内外から来館者を集めます。	④佐伯出身の著名人をゲストに招くなど、本施設の開館記念ならではの華やかでハイレベルな公演を鑑賞したり参加したりする機会を提供すること		
特定の諸室を利用にとどまらず、食育活動支援室や子育て支援室など複数の諸室や機能を活用して行う連携事業を行うことで、諸室の様々な活用方法を紹介し施設利用の促進します。			
			⑥世代を超えて市民誰もが気軽に参加でき、訪れたび何かに出会える場として施設が市民に開かれていること
			⑧佐伯市外の住民をはじめ、既に佐伯を離れたり、これから離れていたりする人々が、まちに愛着を持ちまた訪れたいと感じるきっかけとなること

※着色セルは一方のみが言及した項目

<通年事業>

事業案（第2回市民WSより）	実施方針
ハロウィン+コンサート(仲町を練り歩く/コスプレ)	①市民が日頃の活動や練習等の成果を発表したり、それを鑑賞したりする機会を得ること
クリスマスパーティー(高校生のパフォーマンズ)吹部のパレード、ダンス大会など	
新年お笑い	
ダムカレー発表会	②市民に体験や学習の機会を提供し、施設が学びの場となること
縄文イセキ作り体験	
竹ですべり台	
竹灯工作づくり	
伝統料理を教えて貰いたい	
全国料理教室or料理対決	
ビブリオバトル(図書アイセン)(文学的学習)	
竹の楽器作りWS(学校にも普及)	
英語musical やってみよう	
こどもレストラン	
家庭料理大集合	③あらゆる市民が参加しやすく、また一緒に活動や情報交換ができる仲間との繋がりを持てること
親子さくらスケッチ大会	
むかしあそび伝承会	
城山まつばっくりのクリスマスリース	
城山の山頂でだるまさんがころんだ+だるまさんが○○大会	
忍者技比べ!	
捌キング 魚捌きスピード選手権	
高校3校合同文化祭	
市民持ちよりの市民図書館	
職人、働き手、社長、アホな大人×10代ミーティング	
親子オニごっこ	
親子かくれんぼ	
甘党フェス	
海、山の幸フェス	
佐伯市民フェス	
干物フェス	
公園の所で音楽フェス	

落ち葉プール	④佐伯市の自然や文化、人材といった地域資源を活用し、市民がまちの魅力を身近に感じられること
落ち葉変装フェスティバル	
城山山頂からのそうめん流し	
城山、大手前広場ファミリーキャンプ	
どんぐりひろい	
仲町でアーティストによるナイトマーケット(夏)	
ジュエンプライド→神田うのちゃんドレス展示	
海、山の幸フェス	
城山にイルミネーション	
大みそまつり	
七夕 ささ	⑤季節に合わせた催し等で市内外から人を呼び込み、まち全体のにぎわいに繋げること
そうめん流し	
手持ち花火大会	
クリスマスツリーを飾る	
大鍋パ	
もちつき大会	
佐伯市総合文化祭(何月間にわたる)	
ブルーライト	
ファブラボ運営	
市民図書館	
バイト募集掲示板	⑥施設内の常設機能によって市民の暮らしをより豊かにするとともに、その運営を協力して担う人材の育成を図ること

< 通年事業比較表 >

【市目的】	【市民WS】		
	一致	近似	該当なし
施設の設置目的に基づいた管理運営基本計画に示す4つの考え方の具現化			

【市方針】	【市民WS】		
	一致	近似	該当なし
事業区分や主な対象者など、バランスに配慮して、季節や年度ごとに変化をつけて実施します。		⑤季節に合わせた催し等で市内外から人を呼び込み、まち全体のにぎわいに繋げること	
分野、諸室ごとの事業と連携して行う事業をバランスよく行うことで、いつも何かが行われている施設として、日常的に交流館に訪れたい機会を創出します。			
プロのアーティストや講師を招いて行う事業を行う場合、鑑賞事業と併せて普及・育成事業を行うなど、複合型の事業を実施します。			
市民参画・協働により共催事業を行うことによって、自主事業の本数を充実させるほか、「佐伯らしい・佐伯ならではの」の事業づくりを行います。		⑥施設内の常設機能によって市民の暮らしをより豊かにするとともに、その運営を協力して担う人材の育成を図ること	
			①市民が日頃の活動や練習等の成果を発表したり、それを鑑賞したりする機会を得ること
			②市民に体験や学習の機会を提供し、施設が学びの場となること
			③あらゆる市民が参加しやすく、また一緒に活動や情報交換ができる仲間との繋がりを持てること
			④佐伯市の自然や文化、人材といった地域資源を活用し、市民がまちの魅力を身近に感じられること

※着色セルは一方のみが言及した項目

打ち合わせ記録

場 所：佐伯市役所

日 時：平成 29 年 7 月 24 日 13:00～15:30

議 事：

1. 第 4 回市民ワークショップに向けた事務局会議

- ・ 第 4 回市民ワークショップに向けて事前検討を依頼した市と市民との役割分担の案について、引き続き検討していただくこととした。

2. 第 5 回市民ワークショップに向けた事務局会議

- ・ 第 5 回市民ワークショップの検討テーマは「事業・広報」とすることをシアターワークショップより説明した。
- ・ ワークショップに向けて、関係各課にて実施していきたいと考える自主事業案を作成していただくよう、シアターワークショップより依頼した。
「プレイベント」「開館記念事業」「通年事業」のそれぞれについて、シアターワークショップが作成したフォーマットに事業案を記載していただくこととした。

○第4回、第5回WSに向けて

第4回WS<市民と共に行う運営体制づくり>

7/5の事務局会議にて、第4回WSで使用するのと同じ内容の模造紙(案)を提示し、事前に市と市民の役割分担についてご検討いただくようご提案しました。本日のWSにあたり、事前に事務局内での情報共有を図りたいと思います。

- ① 模造紙の各項目に対して、各課で検討した考えを全体に共有してください。
- ② 本日のWSの中で、予め説明が必要と思われる部分や、「ここを尋ねられたら答えられる自信がない」など、不安な点があればご指摘ください。

第5回WS<事業・広報について>

第5回WSへ向けて、各課の自主事業案を作成して頂きます。第1回合同部会にて、事業の実施方針については大筋で承認を得たため、その方針に沿った事業例を考案して頂くことになります。

プレイベント：プレイベント実施方針に沿って考案

開館記念事業：開館記念事業実施方針に沿って考案

通年事業：事業区分を意識しながら、通年事業実施方針に沿って考案

※専用フォーマット(別紙参照)を作成しました。特に「事業概要」の欄は、第4回WSでの市民のアイデアも参考にしながら、事業実施主体についても可能な範囲でご記入ください。

※各施設・機能の連携も意識しながら考案してください。

※考案頂くのはあくまで「例」であるため、絶対に実施することが前提ではありません。

現段階の想定として作成して下さい。

○各課事業例フォーマット

■プレイベント 自主事業例

課

事業名	事業概要 ※実施主体（市のみor市民と協力） について可能な範囲でご記入下さい。	対象者	開催頻度	会場
例）親子料理 ワークショップ	市民から講師を募集し、運営にも市民の協力を得ながら、親子で楽しめる料理ワークショップを開催。 この事業を発展させていき、開館後の定期的な親子料理教室開催を目指す。	小中学生と その保護者	2カ月に1度	和楽
例）演劇鑑賞会	市が他都市から上演団体を招き、市内の中学生へ演劇鑑賞の機会を提供する。	中学生	年一回	佐伯文化会館

■開館記念事業 自主事業例

課

事業名	事業概要 ※実施主体（市のみor市民と協力）に ついて可能な範囲でご記入下さい。	対象者	開催頻度	会場
例）親子料理コンテスト	プレイベントのワークショップで取り上げた食材等を用いて、創作メニューを披露するコンテスト。大会運営には市民ボランティアの協力を仰ぐ。	小中学生と その保護者	1回のみ	小ホール 食育活動室

■通年事業 自主事業例

課

事業名	事業概要 ※実施主体（市のみor市民と協力）に ついて可能な範囲でご記入下さい。	対象者	開催頻度	会場
例）親子佐伯料理教室	1ヶ月に一度、佐伯の食文化をテーマにした親子料理教室を開催。講師選定を始め、食材調達や参加者募集、当日受付等も市民ボランティアと協力して行う。	小中学生と その保護者	毎月	食育活動室

打ち合わせ記録

場 所：佐伯市役所

日 時：平成 29 年 8 月 25 日 13:00～15:30

議 事：

1. 第 2 回合同部会に向けた事務局会議

- ・第 2 回合同部会の検討テーマは「利用規則」とすることとし、シアターワークショップが作成した利用規則素案を提示した。
- ・利用規則素案について、ご意見等があれば大手前開発推進室を通して伝達していただくこととした。

2. 自主事業を実施していくにあたっての予算、組織の在り方について

- ・複合施設である交流館において自主事業を行っていくにあたり、関係各課の事業予算、交流館の事業予算の在り方を今後整理していかなければいけない旨の認識共有を行った。
- ・同じく、組織においてもどのような連携体制が必要になるのか、今後検討が必要である旨の認識共有を行った。

■0825 事務局会議 議題案

議題1 自主事業の実施スキームの在り方について

- ・各事業を「交流館の事業」として行っていくのか、「市（各課）の事業」として行っていくのか。予算の在り方等を含め、今後の事業実施スキームをどのようにしていくのが望ましいかご意見願います。

パターン案1 交流館では事業予算は持たず、事業は市（各課）が貸館として実施する

	連携事業	個別事業
交流館の事業予算		
市（各課）の事業予算	○	○

パターン案2 交流館の設置目的に沿う事業は交流館が予算をもって実施する

	連携事業	個別事業
交流館の事業予算	○	○
市（各課）の事業予算		

※それ以外の市（各課）の事業は貸館として実施する。

パターン案3 連携が必要な事業は交流館の自主事業扱いとし、個別事業は市（各課）が貸館として実施する。

	連携事業	個別事業
交流館の事業予算	○	
市（各課）の事業予算		○

議題2 自主事業にかかる組織の在り方について

- ・仮に「交流館の事業」として予算を持つのであれば、事業計画をどのように調整・配分していく体制が必要になるか検討が必要です。

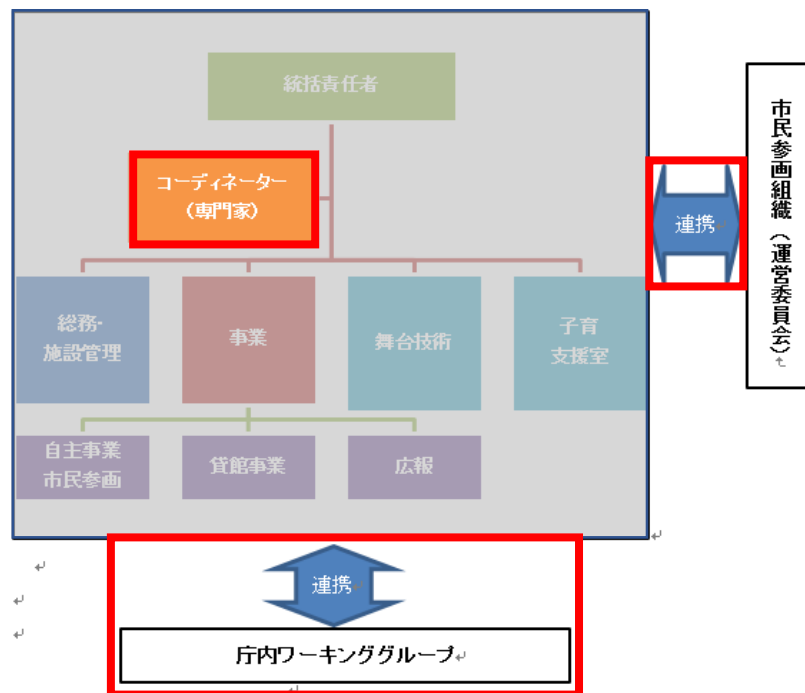
例) 自主事業検討委員会を組織する、事業コーディネーターを設置する、等

- ・仮に「市（各課）の事業」として行っていくのであれば、自主事業の検討を進めるにあたり、担当課間でどのような連携体制が必要になるか検討が必要です。

例) 事業ごとにいずれかの課が主導する、課を横断して委員会組織を設置する、等

- ・仮に「交流館の事業」「市（各課）の事業」を混在させるのであれば、上記のいずれも必要になります。
- ・市と市民間でどのような連携体制が必要になるか、市民ワークショップの意見も踏まえて検討していくことも必要になります。

【組織体制イメージ図】



議題3 利用規則について（第2回合同部会へ向けて）

第3回市民ワークショップのまとめを基に、別紙の通り利用規則についての素案を作成中です。これについてご意見を頂きながら、第2回合同部会に諮る素案を固めていきます。

■プレイベント 自主事業案

No.	担当課	事業名	事業概要 ※実施主体（市のみor市民と協力） について可能な範囲でご記入下さい。	対象者	開催頻度	会場
1	大手前	懐かしの大手前～写真展覧会～	大手前が賑わっていた頃の写真や大手前やバスにまつわるエピソードなどを募集し大手前バス停内に展示。バスルートが新しくなることを祝うとともに、大手前開発事業の進捗をPRする。	すべて	H30年3～4月	大分バス 大手前バス停
2	大手前	知ろう・つながろう・大手前	（仮称）まちづくり交流館建設予定地で実際に建物建設場所を人て囲み、施設の規模を体感するとともに、事業に興味・関心をもつ人を増やす。	すべて	H30年3月	交流館建設予定地
3	大手前	建築現場見学	建築現場の見学会を行い、事業の進捗状況のPRや開館に向けての期待感を高める。	小学生以上		交流館建設予定地
4	大手前	施設を使い倒せ	施設の使い方、使い勝手のモニタリングやスタッフの対応力向上のため、グランドオープンまでの間、施設利用料を無料とする。	市民		交流館
5	大手前	文化芸術フェスティバル	プロの指導のもと、練習し、開館記念事業での発表へとつなげる。	小学生以上		文化会館 三余館
6	大手前	文化会館クロージングイベント	佐伯文化会館に感謝の意を込めた閉館セレモニーイベントを利用者や市民とともに挙げる。	すべて	H32年10月	文化会館
7	大手前	舞台技術ワークショップ	舞台技術のワークショップを行い、開館後のサポーター育成を図る。	高校生以上		文化会館
8	大手前	各種ワークショップ・アウトリーチ	国民文化祭（H30.10～11月）のプレイベントとして行う中で、交流館のプレイベントとして扱うことができるものについて、名称に冠をつけて行う。			
9	市民協働	NPO活動支援事業 （市民協働講座）	市内で活動する市民団体の活動をより円滑にすべく、資金調達や協働について、チラシの作り方などの講座を開催する。	市民活動団体	年一回	佐伯市まちづくり センター 「よろうや仲町」
10	市民協働	NPO活動支援事業 （団体交流会）	市内で活動する市民団体の活動をより円滑にすべく、テーマごと、地域課題ごとに交流会を開催し、マッチングの場を創出する。	市民活動団体	3 か月に 1 回	佐伯市まちづくり センター 「よろうや仲町」
11	市民協働	市民協働推進事業 （よるなか夏祭り、 周年祭の開催）	団体間の交流・連携を促進し、市民のまちづくり活動への関心を高めるためのイベントの開催を行う。	一般	年 2 回	佐伯市まちづくり センター 「よろうや仲町」
12	市民協働	マッチング推進事業 （講座の開催）	婚活支援が求められている昨今、結婚に関する講師を招き、講座を開催する。市内の独身男女の交流する機会を増加へとつなぐ。	市民活動団体、 一般	年 2 回	佐伯市まちづくり センター 「よろうや仲町」
13	食育	食のまちづくり交流懇話会	食の活動をする個人・団体が一堂に会し、それぞれの活動紹介を実施。完成後に取り組む想いなどを語り合い、意識の高揚を図る。	食育関係者	前年 4 回	
14	食育	1品持ち寄り「弁当の日」	それぞれが素朴な一品、自慢の逸品を持ち寄り、情報交換をしながら試食。仲間づくりと楽しく集う癖をつける。	一般市民	前年 2 回	
15	食育	オーガニック普及大作戦	農地の少ないマチナカだからこそ渴望する「緑ある暮らし」に思いを馳せ、オーガニック志向の拡大を図る。	一般市民	前年 3 回	

No.	担当課	事業名	事業概要	対象者	開催頻度	会場
			※実施主体（市のみor市民と協力） について可能な範囲でご記入下さい。			
16	食育	ホールフードフェスタ	食育理念の普及・向上に向けたフェスタでもマチナカへの意識づけを行い、通年事業への参加へと誘う。	一般市民	前年1回	
17	食育	講師混同ミーティング	料理教室や講演・セミナー等の講師を参集して情報交換会を実施。オープン後の運営や夢を語り合う。	食育関係者	前年3回	
18	食育	みそサミット	みそづくりの基礎知識を学ぶとともに、オープンまでに使い切る程度の味噌を作る。開館記念事業へとつなげる。	一般市民	前年1回	
19	食育	佐伯の食人(職人)ストック集約事業	佐伯市の食育関連団体や各カテゴリー別の講師等を集約してデータストックを整備。オープン後の活動につなげる。	食育関係者	前年	

■開館記念事業 自主事業案

○連携事業

No.	担当課	事業名	事業概要 ※実施主体（市のみor市民と協力） について可能な範囲でご記入下さい。	対象者	開催頻度	会場

○個別事業

No.	担当課	事業名	事業概要 ※実施主体（市のみor市民と協力） について可能な範囲でご記入下さい。	対象者	開催頻度	会場
1	大手前	開館記念式典			1回のみ	
2	大手前	開館記念公演				
3	市民協働	NPO活動支援事業 （市民協働講座）	市内で活動する市民団体の活動をより円滑にすべく、資金調達や協働について、チラシの作り方などの講座を開催する。	市民活動団体	年一回	市民協働センター
4	市民協働	NPO活動支援事業 （団体交流会）	市内で活動する市民団体の活動をより円滑にすべく、テーマごと、地域課題ごとに交流会を開催し、マッチングの場を創出する。	市民活動団体	3か月に1回	市民協働センター
5	市民協働	マッチング推進事業 （講座の開催）	婚活支援が求められている昨今、結婚に関する講師を招き、講座を開催する。市内の独身男女の交流する機会を増加へとつなぐ。	市民活動団体、 一般	年2回	市民協働センター
6	食育	佐伯「食の文化祭」	佐伯市各地の郷土料理や家庭料理を一堂に集めて紹介。展示と試食、市民や料理人によるトークライブを実施。 《協働》	一般市民	1回のみ	キッチン セミナーコート
7	食育	佐伯「おさかな天国」	佐伯が誇る魚料理、干物、寿司、刺身、海鮮丼などを紹介。基礎知識を学び、各店舗に誘う。 《協働》	一般市民	1回のみ （土・日）	セミナーコート
8	食育	手前味噌づくり大作戦	オープンを記念して各ご家庭で使う味噌を仕込み、通年事業へと誘う。 《協働》	一般市民	1回のみ （土・日）	キッチン セミナーコート
9	食育	食のマチ佐伯「大収穫祭」	山海の幸を一堂に会して紹介。生産者の想いを語るトークライブや調理デモンストレーション、試食等を実施。 《協働》	一般市民	1回のみ	キッチン セミナーコート

■通年事業 自主事業案

計19事業（うち食育は5事業47講座）

総実施回数1,921回

※カルチャーサロンは三余館での現実回数1,318回を引用

※具体的な頻度の記載がないものは除く

○連携事業

No.	担当課	事業名	事業概要 ※実施主体（市のみor市民と協力） について可能な範囲でご記入下さい。	対象者	開催頻度	会場	事業区分
1	大手前	市民文化祭	各公民館活動等、市民の発表の場を提供する。舞踊、伝統芸能、ダンス、美術、書道等、表現、創作、展示など。				参加・交流事業
2	大手前	佐伯市中学校文化祭	市内中学校合同の文化活動発表会を開催する。	中学生			参加・交流事業
3	大手前	佐伯市高校アートフェスティバル	市内三校の文化活動発表会を開催する。	高校生			参加・交流事業

○個別事業

No.	担当課	事業名	事業概要 ※実施主体（市のみor市民と協力） について可能な範囲でご記入下さい。	対象者	開催頻度	会場	事業区分
1	大手前	コンサートや舞台作品の公演	幅広い世代の市民に対して多彩なジャンル鑑賞の機会を提供する。	すべて	年4本程度	ホール	鑑賞事業
2	大手前	美術・アートの展覧会	アートを紹介する企画展示			小ホール エントランス ホワイエ	鑑賞事業
3	大手前	映画祭					鑑賞事業
4	大手前	カルチャーサロン	三余館で開催しているカルチャーサロンの継承、拡充した教室を開催。様々な文化活動の入口として行う。 ※講師として、市民の協力を求める。	大人	各教室週2回	スタジオほか	普及・育成事業
5	大手前	佐伯市アートコンクール	各種文化芸術活動のコンクールを開催する。				普及・育成事業
6	大手前	伝統芸能ワークショップ	舞踊や神楽など市内各地域の伝統芸能を体験できるワークショップを開催する。	小学生		ホールほか	普及・育成事業 地域・発信事業
7	大手前	佐伯市民ミュージカル		小学生以上			普及・育成事業 参加・交流事業
8	大手前	佐伯市こどもミュージカル		小学生 中学生 高校生			普及・育成事業 参加・交流事業
9	市民協働	NPO活動支援事業Ⅱ（市民協働講座）	市内で活動する市民団体の活動をより円滑にすべく、資金調達や協働について、チラシの作り方などの講座を開催する。	市民活動団体	年一回	市民協働センター	にぎわい創出事業
10	市民協働	NPO活動支援事業Ⅲ（団体交流会）	市内で活動する市民団体の活動をより円滑にすべく、テーマごと、地域課題ごとに交流会を開催し、マッチングの場を創出する。	市民活動団体	3か月に1回	市民協働センター	にぎわい創出事業
11	市民協働	マッチング推進事業Ⅳ（講座の開催）	婚活支援が求められている昨今、結婚に関する講師を招き、講座を開催する。市内の独身男女の交流する機会を増加へとつなぐ。	市民活動団体、 一般	年2回	市民協働センター	にぎわい創出事業

No.	担当課	事業名		事業概要 ※実施主体（市のみor市民と協力） について可能な範囲でご記入下さい。	対象者	開催頻度	会場	事業区分
12	食育	教室事業 (料理教室)	ハイスchoolキッチン (巣立つ君たちへの自炊塾)	中学生・高校生に対して基本的な調理技術や佐伯市 ならではの料理、郷土を思う心などを伝授《協働》	中学生・高校生	下半期月1回	キッチン	普及・育成事業 地域・発信事業
13	食育		地産地消料理教室	佐伯の食材を活用した創作料理を学ぶ 《協働》	一般市民	月1回	キッチン	普及・育成事業 地域・発信事業
14	食育		魚食普及教室	佐伯の魚の知識や料理を学ぶ 《協働》	一般市民	月1回	キッチン	普及・育成事業 地域・発信事業
15	食育		食文化研究会	日本各地の食文化、佐伯の食文化、作り方等を学ぶ 《協働》	一般市民	月1回	キッチン	普及・育成事業 地域・発信事業
16	食育		親子料理教室	就学前児童とその保護者を想定 《協働》	親子	月1回	キッチン	普及・育成事業
17	食育		ひよっこ料理教室	夏休み・冬休みの子どもたち(小学生を対象に実施) 《協働》	子ども	休み期間中 週2回	キッチン	普及・育成事業
18	食育		ミス&ミセスキッチン	女性ならではの健康づくりや「誰かのため」につく る料理技術を学ぶ 《協働》	主に女性	月2回	キッチン	普及・育成事業
19	食育		ミスターキッチン	料理に馴染みの薄い男性に料理の基本技術を伝授 《協働》	主に男性	月2回	キッチン	普及・育成事業
20	食育		カップルキッチン	夫婦やカップルなど二人一組で学ぶ料理教室《協 働》	カップル	月2回	キッチン	普及・育成事業
21	食育		おなごし料理教室	シニア世代の女性が学んでおきたい料理のイロハを 伝授。食の生涯学習。《協働》	主にご幸願の女性	週1回	キッチン	普及・育成事業
22	食育		おとこし料理教室	シニア世代の男性が学んでおきたい料理のイロハを 伝授。食の生涯学習。《協働》	主にご幸願の男性	週1回	キッチン	普及・育成事業
23	食育		タイムラグキッチン	時間の無い働き盛りの方等が、空いた時間に料理を 学ぶ予約制教室《協働》	一般市民	随時	キッチン	普及・育成事業
24	食育		パンづくり教室	パンづくりの基本やささまざまな風味・種類のパンづ くりを学ぶ《協働》	一般市民	月2回	キッチン	普及・育成事業
25	食育		スイーツキッチン	クッキーやケーキなど洋菓子を中心に学ぶ《協働》	一般市民	月2回	キッチン	普及・育成事業
26	食育		ホールフードキッチン	食材を使い切るホールフードの料理を学ぶ《協働》	一般市民	月1回	キッチン	普及・育成事業
27	食育		そば打ち道場	そばの知識、打ち方等を学ぶ 《協働》	一般市民	月2回	キッチン	普及・育成事業
28	食育		うどん打ち道場	うどんの知識、打ち方等を学ぶ 《協働》	一般市民	月2回	キッチン	普及・育成事業
29	食育		ベジ食べるキッチン	野菜や果物の基礎知識やそれを使った料理を野菜ソ ムリエ等が伝授《協働》	一般市民	月1回	キッチン	普及・育成事業
30	食育		漬け物教室	ぬか漬け、梅干し、奈良漬、西京漬けなどさまざ まな漬け物の知識や作り方を学ぶ《協働》	一般市民	月1回	キッチン	普及・育成事業

No.	担当課	事業名		事業概要 ※実施主体（市のみor市民と協力） について可能な範囲でご記入下さい。	対象者	開催頻度	会場	事業区分
31	食育		みそづくり教室	みその知識やその作り方を学ぶ 《協働》	一般市民	年3回	キッチン	普及・育成事業
32	食育		糀(発酵)料理教室	発酵の知識や糀を使った料理を学ぶ 《協働》	一般市民	月1回	キッチン	普及・育成事業
33	食育		和食料理教室	世界無形遺産にも登録された和食の意義や価値を学び、その作り方を共有する《協働》	一般市民	月1回	キッチン	普及・育成事業
34	食育		ワールドキッチン	中華、フレンチ、イタリアンなど海外の料理を学ぶ教室《協働》	一般市民	月1回	キッチン	普及・育成事業
35	食育		サバ飯教室	サバイバルご飯(防災や救急の際の飲食)について学ぶ《協働》	一般市民	年4回	キッチン	普及・育成事業
36	食育		お菓子作り教室	まんじゅう、お餅、あられ等の和菓子づくりを学ぶ《協働》	一般市民	月1回	キッチン	普及・育成事業
37	食育		おつまみ教室	ちょっとした軽食やお酒の肴などを学ぶ《協働》	一般市民	月2回	キッチン	普及・育成事業
38	食育		調理の基本教室	包丁の種類や使い方、火加減、調味料、器材の使用 方法など、調理に特化して基礎知識を学ぶ《協働》	一般市民	月1回	キッチン	普及・育成事業
39	食育		おすし道場	お寿司の知識や技術を学ぶ 《協働》	一般市民	年3回	キッチン	普及・育成事業
40	食育		魚のさばき方教室	魚の知識やさばき方を学ぶ 《協働》	一般市民	月1回	キッチン	普及・育成事業
41	食育		食創料理教室	和洋中等の垣根を越え、相互の知識や料理を学ぶ 《協働》	飲食店経営者等	年3回	キッチン	普及・育成事業
42	食育		四季の料理研究会	四季折々の食材やそれを生かした料理を学ぶ《協働》	飲食店経営者等	年4回	キッチン	普及・育成事業

No.	担当課	事業名		事業概要 ※実施主体（市のみor市民と協力） について可能な範囲でご記入下さい。	対象者	開催頻度	会場	事業区分
43	食育	教室事業 (座学)	ソムリエ教室	水・茶・ワインなどの基礎知識を学ぶ《協働》	一般市民	年3回	セミナーコート	普及・育成事業
44	食育		利き酒道場	酒・焼酎の基礎知識を学ぶ 《協働》	一般市民	年3回	セミナーコート	普及・育成事業
45	食育		テーブルマナーセミナー	食べるときの所作、マナー等の知識を学ぶ《協働》	一般市民	年3回	セミナーコート	普及・育成事業
46	食育	研究開発事業	ふるさとグルメ勉強会	佐伯の各地域の伝統料理や名物料理(ごまだし、佐伯ラーメン、ジビエ、寿司、海鮮丼など)の研究開発 《協働》	飲食店経営者等	年3回	キッチン	普及・育成事業 地域・発信事業
47	食育		地域食材活用研究会	各地域に存在する食材の有効活用に向けた研究会 《協働》	飲食店経営者等	年3回	キッチン	普及・育成事業 地域・発信事業
48	食育		チャレンジキッチン(週末まちなかキッチン)	キッチンを活用して活動する団体による試作品等の 試食イベント《協働》	生産者 販売者 料理人等	月1回	キッチン ホワイエ	普及・育成事業
49	食育	交流会事業	家庭料理交流会	各家庭で作っている料理を持ち寄っての交流会《協働》	一般市民	年4回	キッチン セミナーコート	普及・育成事業
50	食育		「弁当の日」交流会	弁当づくりの意義や理念を共有し、作り方の基本を 学ぶ持ち寄り交流会《協働》	一般市民	年4回	キッチン セミナーコート	普及・育成事業
51	食育		「食人」交流懇話会	生産者や仲買、料理人など食にかかわる職人(食人) を招いての交流懇話会《協働》	生産者 販売者 料理人等	年2回	セミナーコート	普及・育成事業
52	食育		食育交流懇話会	食にかかわる活動をする市民や民間団体を一堂に会 しての懇話会《協働》	食関連活動者 食関連活動団体	年2回	セミナーコート	普及・育成事業
53	食育	勉強会事業	郷土料理講演会	因尾茶、椀屋、佐伯さつま、椎茸栽培、かぼす栽培、 漁業など食材や料理の歴史を各地域の生産者や 第一人者から学ぶ《協働》	一般市民	月1回	セミナーコート	普及・育成事業 地域・発信事業
54	食育		食のまちづくりセミナー	食とまちづくり・人づくり等を学ぶ 《協働》	一般市民	月1回	セミナーコート	普及・育成事業
55	食育		食育講演会	食育に関するテーマによる講演 《協働》	一般市民	月1回	セミナーコート	普及・育成事業
56	食育		オーガニック勉強会	農業や化学肥料を極力使わない土づくり・野菜づくり を学ぶ《協働》	一般市民	月1回	セミナーコート	普及・育成事業
57	食育		世代間交流食育勉強会	小中学生・高校生から幸麗者まで幅広い年代の市民 による食育勉強会《協働》	一般市民	年2回	セミナーコート	普及・育成事業
58	食育		食の店経営勉強会	飲食店等の経営安定・改善に向けた勉強会《協働》	飲食店経営者等	月2回	セミナーコート	普及・育成事業

打ち合わせ記録

場 所：佐伯市役所

日 時：平成 29 年 1 月 18 日 13:00～15:00

議 事：

1. 館長に求められる要件について

- ・交流館の館長を今後選定していくにあたり、求められる要件をシアターワークショップより提示した。

市民参画協働を主体とした複合施設であるため、広い視野や柔軟な考えを持ち、バランス感覚に優れたジェネラリストであることが望まれ、主な要件は以下のとおりである。

- ・組織のリーダーとしての統率力・指導力
- ・豊富な知識とコミュニケーション能力
- ・幅広い人脈と管理運営実績

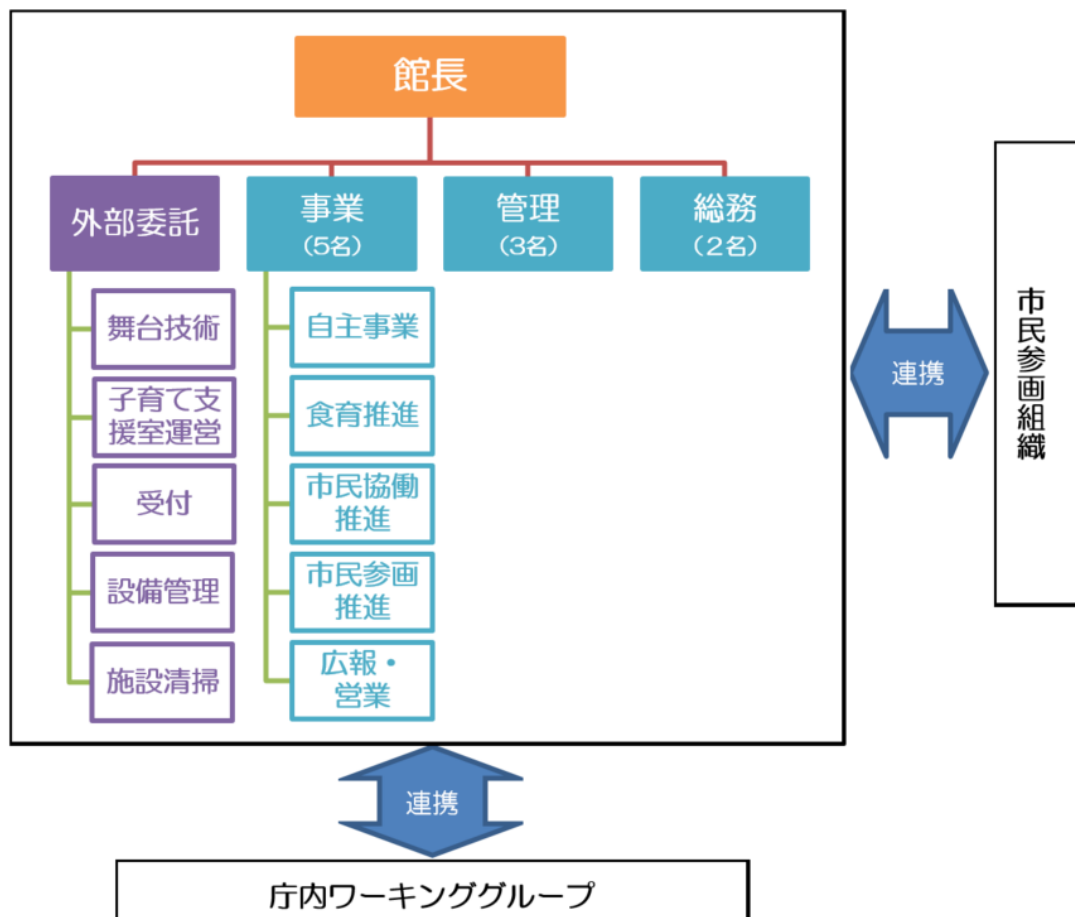
(仮称) 大手前まちづくり交流館 (仮称) 大手前広場
管理運営組織および館長に求められる要件

組織全体に求められる要件

本施設は、当面のあいだ市による直営となる方針であるが、その管理運営組織の体制を下図のように検討している。本組織は、新たな施設の管理運営を軌道に乗せる重要な役割を担うが、中でも館長および事業担当には公共の複合文化施設ならではの専門的な知識や経験が求められる。そこでまずは、事業担当を中心として組織全体に求められる要件を次の①～⑥の通り整理する。

関連部署や関係者が多岐に亘る複合文化施設だからこそ、館長の強い権限や高い専門性に依存するトップダウン型ではなく、職員一人一人が専門性を身に付けながら、館の運営全体に影響力を持つボトムアップ型の組織を目指すことが肝要である。

【組織体制イメージ図】



① 市民参画・協働への深い理解と協調性

交流館は、管理運営への積極的な市民参画を推進している。したがって職員は、その意義と、佐伯市民の利用特性や既存の活動等に深い理解を持たなければならない。地域に溶け込み、既存事業の活性化や市民との協働に尽力を惜しまない人材で構成されることが重要である。

② 高い企画力

交流館には、その設立趣旨に沿った独自の事業企画が必要である。事業担当者は、自らの専門ジャンルに対する高い企画力を有するのは勿論のこと、専門領域以外のジャンルに対しても、企画の内容を理解し、良し悪しを判断できなければならない。

③ 市民ニーズを反映したプログラム作り

事業担当者にはオリジナリティの高い企画提案力が求められるが、それが常に市民に受け入れられるとは限らない。両者が一致することが理想であるが、そうではない場合には、市民のニーズを汲み取りながら、より優れたプログラム作りができる柔軟性が必要である。

④ 的確な評価を次につなげる展開力

市民が交流館の事業に期待するのは、充実した内容のみならずその継続性である。職員には、一時的に人を集められる企画力だけでなく、課題点や成功要因を的確に分析し、次の事業展開に活かせる能力が望まれる。

⑤ 資金調達能力や経営感覚

事業の充実を図るためには、公的な補助金や民間からの助成金の獲得など外部資金調達が必要であり、職員にはその調達能力が望まれる。また、事業の実施にあたっては、市民ニーズの把握やチケットセールスの予測など、マーケティングによる裏付けに基づいた経営センスも求められる。

⑥ 文化行政や公共文化施設の特殊性への理解

職員は、公共文化施設の管理運営に従事する者として、文化行政や公共文化施設の置かれた立場、社会に対するミッション等についてよく理解し、自らの言葉で語れる人材であることが望まれる。

※以上のことから、特に専門性の高い事業担当は5名全てを市職員から選任するのではなく、経験豊富な人材を一部雇い入れることも有効である。その場合は、コーディネーターやアドバイザーのような一時的・部分的な協力者ではなく、組織の一員として尽力する嘱託職員等として雇用することが望ましい。

館長に求められる要件

こうした中で館長の役割は、あらゆる人・機能を繋ぎ、全体の調整を図りながら、組織のリーダーとして統率力・指導力を発揮していくことにある。知識や経験はもちろんのこと、広い視野や柔軟な考えを持ち、バランス感覚に優れたジェネラリストであることが重要である。

① 組織のリーダーとしての統率力・指導力

交流館の運営管理を行うためには、一つの組織を構成し、また多くの関係者との協働体制を構築して業務を実施することになる。その中において館長は、統括責任者として適切な判断を下す立場であり、また機能間の連携を重視する施設の長として、人と人、機能と機能を結び付ける観点からの的確な助言を行える能力が必要である。

② 豊富な知識とコミュニケーション能力

館長には特定の分野のみに偏らない幅広い知識や教養が求められるが、それに加えて親しみやすさや一般市民とのコミュニケーション能力も重要である。更に言えば、より市民との距離を縮め、市民目線に立った管理運営を主導する立場として、佐伯市内に居住可能であることが望まれる。

③ 幅広い人脈と管理運営実績

館長は幅広い人脈を持ち、そのネットワークを提供できる人物であることが望まれる。特に交流館は、新たな組織によってそれまでなかった施設をつくることとなるため、文化施設の立ち上げ経験者であればより望ましい。

以上